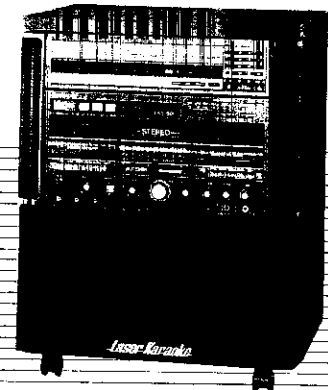


# LKS-500形

## 取扱説明書



本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車載、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。また、CD-ROM、CDグラフィックスは再生できません。

本機はカラオケ本体部 HAD-LK500 と、マルチレーザーディスクプレーヤー部 VIP-LK500 の2梱包で構成されています。

- このたびは日立レーザーカラオケシステム、LKS-500 をお求めいただき、まことにありがとうございました。
- この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表といっしょに保存してください。

目次	
基本編(レーザーカラオケの楽しみかた).....	2
1 特長.....	4
2 付属品の確認.....	4
3 このセットを安全にご使用いただくためのご注意.....	5
4 ご使用になる前に.....	6
●取扱上の注意.....	6
●テレビの載せかたおよび転倒防止について.....	6
5 ディスクについて.....	8
●本機で再生できるディスクの種類.....	8
●ディスクの取扱い.....	10
6 テープについて.....	11
●レーザーディスク自動モード切替機能.....	12
●ステレオ音多について.....	13
●Don Don デジタルワイドについて.....	13
7 裏面各部の名称と接続のしかた.....	14
●レーザーカラオケの接続.....	16
●一般のテレビへ接続するときのご注意.....	17-19
8 各部の名称と働き.....	20-24
9 操作のしかた.....	25-30
●準備.....	25
●カセットの演奏.....	25
●カセット・2の頭出し.....	26
●カセット・1で録音するとき.....	27
●録音した音を消去するとき.....	27
●自動頭出し用曲間のつくりかた.....	27
●ディスクの出し入れ.....	28
●レーザーカラオケ演奏を止めるには.....	28
●LD/CDカラオケの演奏.....	29
●知っておくと便利な機能.....	30
●カラオケ以外のディスクを楽しむ.....	30
10 リモコン操作.....	31-49
●リモコンの準備.....	31
●各部の名称と働き.....	32-33
●表示切替について.....	34-35
●カラオケ以外でディスク再生を楽しむとき.....	36-37
●希望の曲から演奏する.....	38-39
●見たい場面を呼び出す.....	40-41
●見ながら探す.....	42
●頭出して探す.....	42
●速さや向きを変えて再生する.....	43
●静止/コマ送り/コマ戻し.....	43
●くり返して見る・聞く.....	44-45
●順序をかえて見る・聞く.....	46-49
11 安全にお使いいただくために.....	50
12 保守と注意事項.....	51
13 故障と思われるとき.....	52-55
14 仕様.....	56-57
15 保証とサービスについて.....	58
16 著作権についてのご注意.....	58



品質を大切にする(技術の日立)

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコー(らし)のダイヤル—家電品のお買物相談は—  
 0120-312111  
 (フリーダイヤル・無料 年中無休9-20時 東京で受領)

日立家電販売株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12  
 電話 (03)502-2111

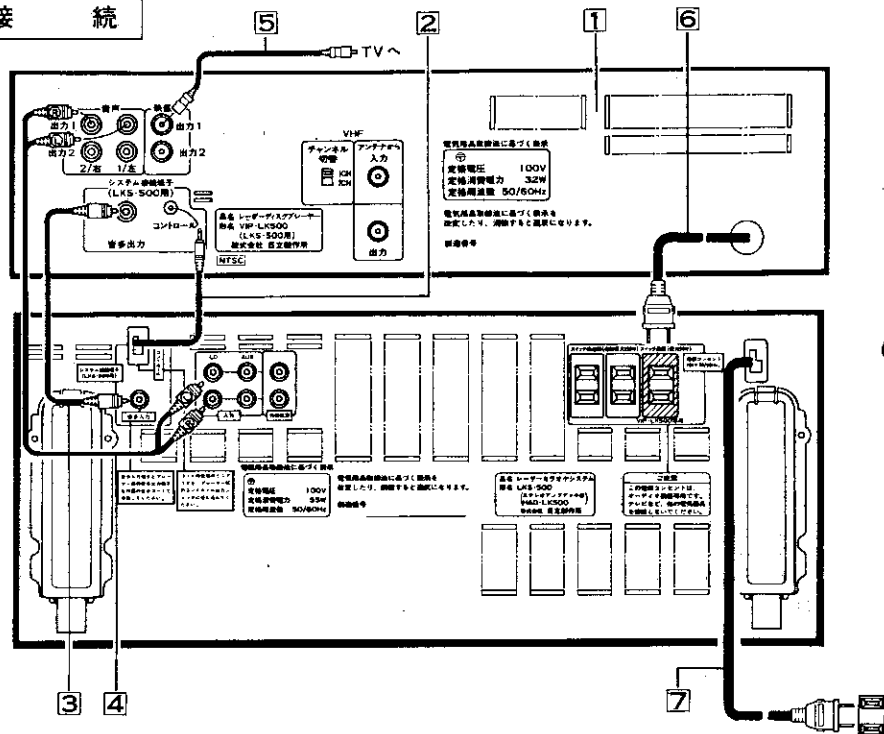
株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12  
 電話 (03)502-2111

## 基本編 レーザーカラオケの楽しみかた

映像入力端子をもったTVと接続してすぐにカラオケを楽しめます。(くわしくは本文をご覧ください。)

### 接続

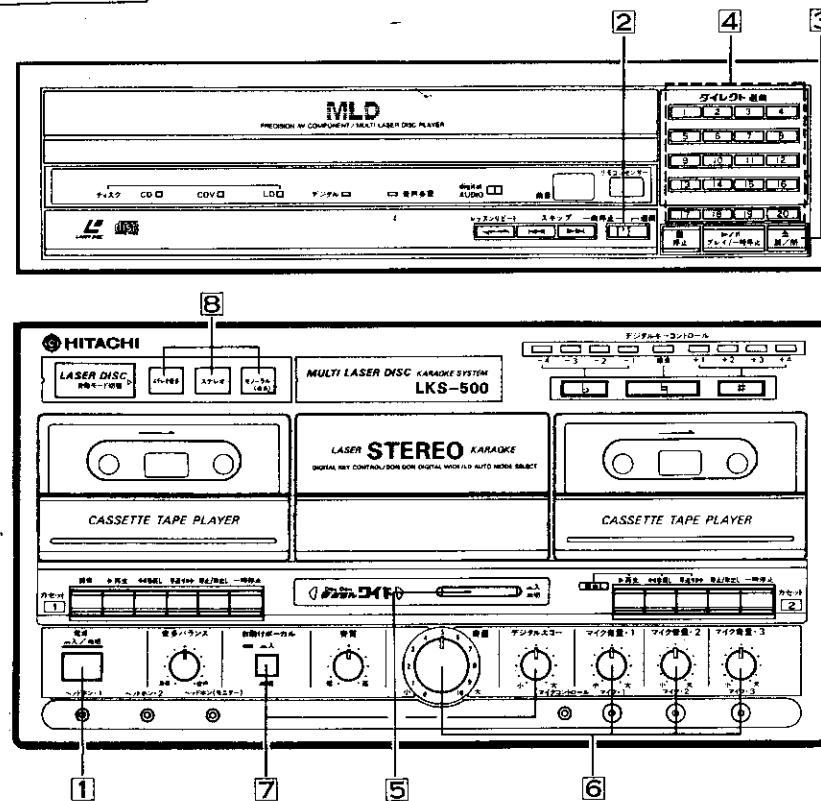


- ① マルチレーザーディスクプレーヤー (VIP-LK500) を後面より入れてください。
- ② システム接続端子のミニプラグをマルチレーザーディスクプレーヤーのコントロールミニジャックに接続します。
- ③ 付属の音多コードでVIP-LK500とHAD-LK500の音多出力と音多入力とを接続します。
- ④ 付属のオーディオコードでVIP-LK500のオーディオ出力とHAD-LK500のLDとを接続します。
- ⑤ 付属のビデオコードでVIP-LK500のビデオ出力とTVの映像入力とを接続します。
- ⑥ VIP-LK500の電源コードをLDプレーヤー専用コンセントに接続します。
- ⑦ 電源プラグをACコンセントに接続します。TVの電源プラグも接続してください。

**ご注意** ●システム接続端子が接続されていないときは、音多バランスつまみの機能が動作しくくなります。また「LASER DISC 自動モード切替」機能も動作しくなくなります。(②、③)  
●VIP-LK500の電源コードをスイッチ非連動コンセントに接続すると、電源ボタンを「切」にしても、VIP-LK500の電源が入ったままになります。

カラオケの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも、小さくもなります。夜間の音(歌声)には隣近所の迷惑にならないよう特に気を配り、快い生活環境を守りましょう。

### 操作



- ① 電源を入れる。(TVの電源も入れる。)
- ② 一曲停止俵にする。
- ③ 開/閉ボタンを押しディスクテーブルを出して、ディスクをのせる。
- ④ ダイレクト選曲で選曲する。ディスクテーブルが自動的に中に入り再生を始める。
- ⑤ DON DON デジタルワイドボタンを押す(表示ランプが点灯します。)
- ⑥ マイク音量と音つまみを調節する。
- ⑦ マイクエコー/お助けボーカルなどは、お好みによりそれぞれ使用します。  
演奏が終了したら一時停止となります。

- 同じディスクの曲を選曲するときは、ダイレクト選曲ボタンを押します。
- ディスクを取り出すときは、開/閉ボタンを押してください。

#### ご注意

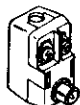
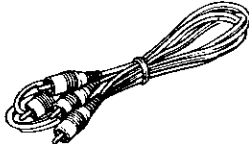


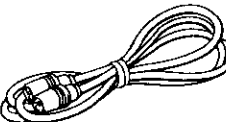



1. カセットテープや外部入力で再生する場合、モード表示ランプ⑧が「ステレオ」になっていることを確認してください。「ステレオ音多」または「モノラル(音多)」の表示ランプが点灯しているときは、プレーヤーよりレーザーディスクを取り出すと「ステレオ」モードとなります。
2. カセットテープとレーザーディスクを同時に再生すると、両方の音が同時に聞こえますのでご注意ください。

# 1 特長

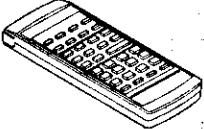

- LD(30cm/20cm/20cmシングル)+CDV+CD(12cm/8cmシングル)+Wカセットが使える1台7役
- レーザーディスク自動モード切替機能
- ステレオ音多(音多・デジタルディスク使用時)
- 20曲ダイレクト選曲
- レッスンリピート機能
- お助けボイカル
- ベアヘッドホンジャック
- モニターヘッドホンジャック
- デジタルステレオキーコントローラー
- 総合出力60W

# 2 付属品の確認 — 下記の部品が付属しています。

## HAD-LK500 (カラオケ本体部)

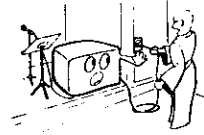
- アンテナアダプター (75Ω → 300Ω → 75Ω)  
VHFアンテナケーブルをVIP-LK500へ接続するのに使います。  

- オーディオコード (先端 赤・白) (ピンプラグ×2 ↔ ピンプラグ×2)  
HAD-LK500とVIP-LK500の接続に使います。  

- キャスト受皿×4  

- ビデオコード (先端 黄) (ピンプラグ ↔ ピンプラグ)  
映像入力を持っているテレビを使う場合に、VIP-LK500とテレビの接続に使います。  

- RFコード (同軸ケーブル) (J型プラグ ↔ J型プラグ)  
テレビとVIP-LK500の接続に使います。  

- 音多コード (先端 黒) (ピンプラグ ↔ ピンプラグ)  
HAD-LK500とVIP-LK500の接続に使います。  

- 転倒防止用チェーン  

- 転倒防止用ヒル釘  

- 取扱説明書(本書)
- 保証書

## VIP-LK500 (マルチレーザーディスクプレーヤー部)

- リモートコントロールユニット (VIP-RM30)  

- 単4形乾電池 (R03/UM-4) 2本  


# 3 このセットを安全にご使用いただくためのご注意

## 電源コードは大切に



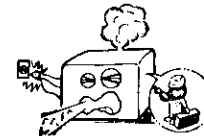
- 電源コードに傷をつけないようにご注意ください。火災や感電の原因となり危険です。
- 電源コードのプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 交流電源は100Vでご使用ください。クーラーやセントラルヒーティングの電源は200Vのものがり危険です。

## 感電にご注意



- セットを分解したり、改造しないでください。電圧の高い部分がありますので危険です。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

## 異常なときは



- 変な音やにおいがするなど異常な状態のまま使用すると危険です。すぐに電源コードのプラグを抜き、販売店にご連絡ください。

## 湿気やホコリの多い場所に置かない



- 風呂場など湿気の多い場所やホコリの多い場所に置かないでください。故障の原因になります。
- セット内部に水をこぼしたり、金属類を入れたりしないでください。

## 高温の場所に置かない



- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置くとキャビネットや部品に悪い影響を与えますので、ご注意ください。

## ＜キャビネットのお手入れ＞

- キャビネットは殺虫剤が付着したり、ベンジン、シンナーなどの溶剤でふいたりしますと変質したり、変色することがありますので使用は避けてください。また、汚れをふき取る時は、柔らかい布を使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

# ご使用になる前に

ご使用になる前に、次のことにご注意ください。

### ●セットの移動

セットを移動する場合には、必ず電源プラグなどのコード類を抜きとってから移動してください。

### ●保管をしてください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。

●本セットは、電源周波数が50Hzでも60Hzでも、そのままご使用になれます。電源周波数の異なる地域へおうつりになっても部品の交換、調整などは必要ありません。

●説明に使用しているイラストは操作を良くご理解いただけるようにしておりますので、実際とは若干異なる部分があります。

### ●平坦なしっかりした所に設置してください。

傾いた所やぐらつく所に設置すると、本機が倒れたりすることがあります。

特にテレビをのせる場合はご注意ください。

### ●乗ったり、ぶら下がったりすることは危険です。

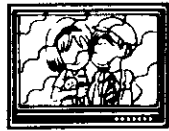
本機を踏み台がわりに使わないでください。倒れたり、こわれたりして危険です。特に小さいお子さまが本機に登ったり、ぶら下がったりすると危険ですのでご注意ください。

## 取扱上のご注意

——— ご使用の前に必ずお読みください。

### テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

テレビ放送の電源状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見るときはしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。この場合、または長時間テレビ放送を見る場合には、本機の電源を切ってください。



### 結露現象について

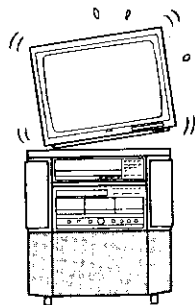
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると動作部やレンズに霧が付き、霧がついたままではレーザー光による信号の読取り再生ができません。

結露の程度にもよりますが、電源を入れて1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば霧が消え、再生できるようになります。

結露は、夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

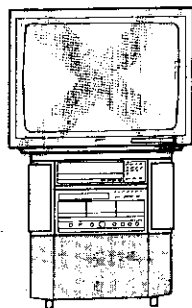
### テレビの載せかた および 転倒防止について

●テレビを載せたまま移動しないでください。



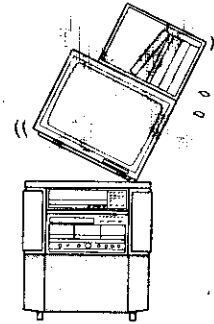
移動する場合は、テレビをおろして、キャスター台座をとってください。本機が倒れたりしてはいへん危険です。

●寸法の大きすぎるテレビは載せないでください。また35kgをこえる重さのものは載せないでください。



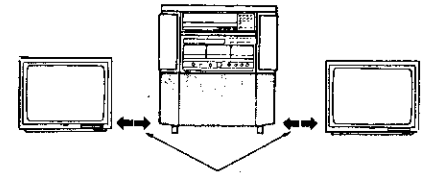
このテレビが落ちたり、本機が倒れたりすることがあり危険です。

●テレビの上に物を置かないでください。



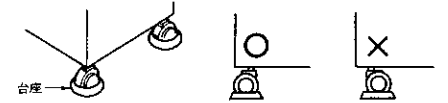
このテレビが落ちたり、本機が倒れたりすることがあり危険です。

●本機の上ではなく、左右の側にテレビを置くときは、テレビに色ずれなどがおこることがありますので、50cm以上離してください。



●付属のキャスター台座を使用して、本機の安定を良くしてください。

キャスターの向きを図のように合わせてください。

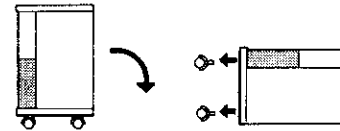


ご注意  
テレビを載せると重量が増え、台座を取付けにくくなりますので必ずテレビをのせる前に行ってください。

【ご注意】  
●強い衝撃をあたえないでください。

●設置場所によっては、本機のキャスターを外しますとより安全に設置することが出来ます。

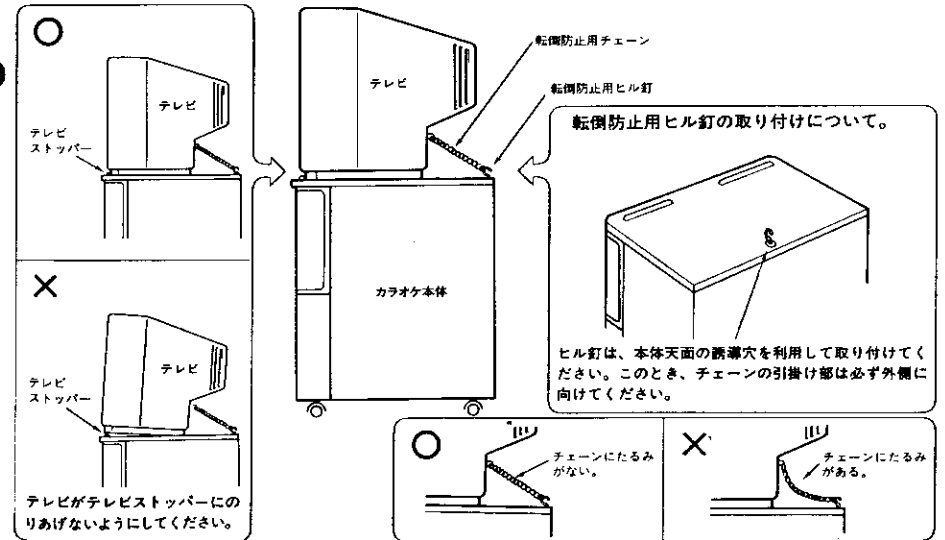
キャスターを外す場合は、マルチレーザーディスクプレーヤーを引き出しHAD-LK500のみを後面が下になるように静かに倒し、キャスターを引き抜いてください。



●本機に載せるテレビは、C21-BVI/EVIを推奨します。

推奨以外のテレビを載せる場合は、市販のひもまたはクサリをご利用いただき転倒を防止する等、安全に充分注意してください。

1. テレビは本機の中央に載せてください。
2. テレビは安全の為、A図「O」のように置いてください。
3. C21-BVI/EVIを載せる場合は、B図「O」のように付属の転倒防止チェーンをたるみがないように取り付けてください。





A図

B図

## 本機で再生できるディスクの種類

本機はマルチ レーザーディスク プレーヤーです。  
本機では、次の6種類のサイズのディスクを再生することができます。  
●マークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

マーク	ディスク	サイズ	記録面	音声録音方式	映像録画方式	その他
	CD (コンパクトディスク) シングル	8cm	片面	デジタル(最大20分)	—	TOC (*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片面	デジタル(最大74分)	—	TOC
	GDV (CD VIDEO)	12cm	片面	デジタル(最大20分)	CLV (*3) (最大5分)	TOC
	TOC付きLD (CD VIDEO LD) (*5)	20cm シングル	片面	デジタル/アナログ	CAV (*2)、 CLV	TOC
		20cm	両面、 片面			
	LD (レーザーディスク)	30cm		両面、 片面	デジタル/アナログ (*4) またはアナログのみ	CAV、CLV

本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクは使用できません。

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは法律により禁じられています。

## 用語の説明

## LD用語

## チャプターナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けたナンバーです。本の「章」番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションをすばやく見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

●ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

## フレームナンバー

CAVディスクのすべてのフレームごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

## タイムナンバー

CLVディスクに記録された、ディスクの最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

## CDV/CD用語

## トラックナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り番号付けた曲番のことです。GDVディスクではオーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。希望の曲をすばやく見つけるトラックサーチなどの操作ができます。

## TOC (\*1)

すべてのCD、GDVディスクには音声信号以外のTOC (Table Of Contents) という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

●LDディスクもTOCが記録されているものがあります。

## LD (レーザーディスク)

本機では右記のマークのついたレーザーディスクをご使用ください。



このマークはレーザーディスクの統一マークです。レーザーディスクマークの付いたプレーヤーおよびディスクは同じテレビ方式に適合したものであれば互換性があります。レーザーディスクには、信号の記録方法により標準ディスク (CAV) (\*2) と長時間ディスク (CLV) (\*3) があります。

## CAV (\*2)

ディスクのジャケット、またはレーベルに「標準ディスク/CAV」、[Standard play] と表示されています。ディスクの1周に1画面が記録されていて、一定回転(一定の角速度: Constant Angular Velocity) 1800rpmで再生されます。静止画再生、マルチスピード再生などの特殊再生に適しています。再生時間は片面最大30分で(30cmディスク)最大54000フレームが記録され、それぞれのフレームには1から54000のフレームナンバーがついています。

●再生時間はディスクの内容により異なります。



## CLV (\*3)

ディスクのジャケット、またはレーベルに「長時間ディスク/CLV」、または「Extended Play」と表示されています。

一定の線速度 (Constant Linear Velocity: CLV) で信号が記録されていて、内周 (回転速度1800rpm) から外周 (回転速度600rpm) 方向にディスクの回転速度を変えながら再生します。従って、再生時間は片面最大60分(30cmディスク)と標準ディスクに比べて長くなっています。ディスクの最初からの経過時間に応じてタイムナンバーが記録されています。

●再生時間はディスクの内容により異なります。



## デジタル音声付きレーザーディスク (\*4)

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示さまたは  れます。

アナログ音声信号に加えて、デジタル信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。デジタル、アナログの2種類の音声は異なった周波数帯域を使用してディスクに記録されています。

## デジタル音声付き

## レーザーディスクマルチオーディオディスク

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示さ または  れています。

デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声記録されています。デジタル音声とアナログ音声を切り替えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

## CD VIDEO SYSTEM

CD VIDEO SYSTEM (CDビデオシステム) とは、GDVを含む「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の統一名称です。

CDビデオシステムには、右の統一マークが定められており、このシステムに属するプレーヤーおよびディスクには必ずこのマークが付けられています。



CDビデオシステムに含まれるシステムは:

- GDVディスク (CD VIDEO GDV)
- サブコード入りデジタル音声付きLD (CD VIDEO LD)
- CD VIDEO コンパチブルプレーヤー
- CD VIDEO LD コンパチブルプレーヤー

## CD VIDEO LD ディスク (\*5)

従来のデジタル音声付きディスクにサブコード (音声/映像信号以外に記録されているTOC、トラックナンバーなどの情報) が記録されたLDディスクのことです。

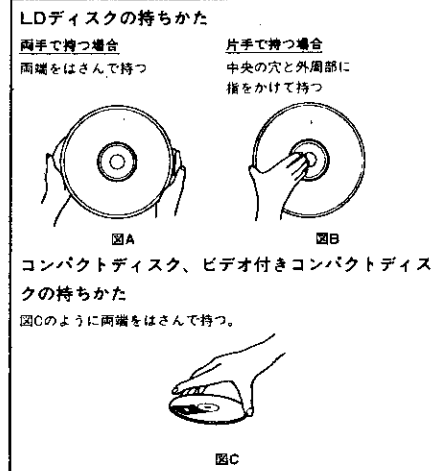
## CDV (ビデオ付きコンパクトディスク)

ビデオパート付きのGDVです。GDVの再生時間、25分のうち20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声記録されています (オーディオパート)。残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声記録されています (ビデオパート)。通常再生の場合、ビデオパートを再生した後オーディオパートを再生します。

## ディスクの取扱い

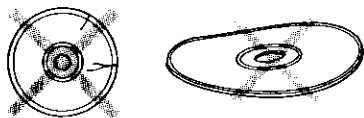
### ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取出すときは、できるだけ表面をさわらないようにしてください。



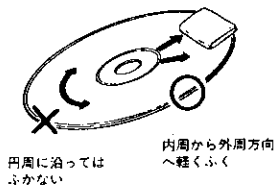
ひびやそりのあるディスクは、  
使用しないでください。

■再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転します。  
ひびが入ったディスクや、欠けのあるディスク、大きくそってしまったディスクは絶対に使用しないでください。プレーヤーを破損したり故障させる原因になります。

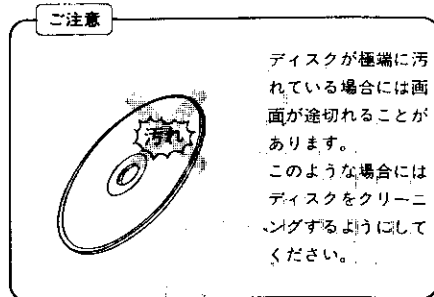


### クリーニング

ディスクに指紋や汚れが付いた場合でも、ディスクの信号には直接影響しません。しかし信号記録面からの反射光が弱くなり画質や音質が低下します。汚れが付いた場合はクリーニングしてご使用ください。  
クリーニングする場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた布で水気をふき取ってください。ディスクの内周から外周方向へ放射状にクリーニングしてください。



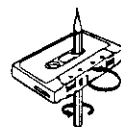
レコードスプレー、帯電防止剤などの使用はできません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



## 6 テープについて

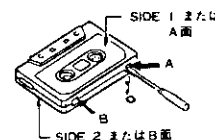
### ■カセットテープについて

#### ●テープの取扱いについて



テープがたるんでいる場合は、鉛筆などでたるみを直してから使用してください。

#### ●誤消去防止について



カセットテープの後側面のツメを折りますと、誤って録音を消去することはありません。

- SIDE 1またはA面の録音を残す場合……ツメAを折る。
- SIDE 2またはB面の録音を残す場合……ツメBを折る

穴の上にゼロハンテープをはると再び録音ができます。

#### ●テープの保管

- カセットテープを裸のまま放置しないでください。テープがたるまないようにストッパー付のケースに入れるか、厚紙などでストッパーをつけて保管してください。
- また直射日光、高温、高湿および磁気のあるところ（テレビやスピーカーのそば等）には置かないでください。

- テープはノーマルテープをご使用ください。クローム、メタルテープなどを使うと、音が突ったりひずんだりします。
- またC-120のテープは、テープが薄くトラブルが起きやすいので、使用しないでください。

### 使用されるテープについてのご願い

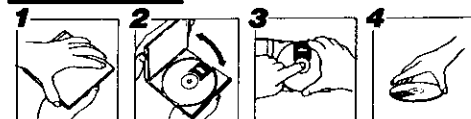
このカラオケに使用されているカセットプレーヤーは精密な機械です。そのため、次のようなテープをご使用になりますと故障の原因になりますので、ご注意ください。

1. テープがわかめ状のしわになっているテープ
2. テープが汚れているテープ
3. テープ面に折り目のついているテープ
4. テープ面がべとついているテープ

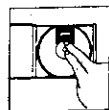
特にテープが古くなると、このような状態になります。

安心してご使用いただくためにも、正常なテープをお使いになるようお願い致します。

### CDケースの出しかた



### 入れかた



## テープについて

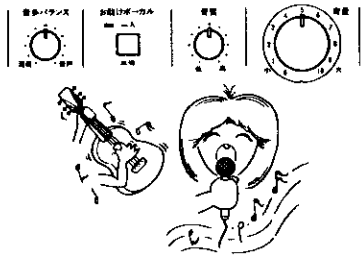
### ■音声多重について

- プロ歌手の声に合わせて楽しくカラオケ練習ができるように工夫されたテープです。テープには各チャンネルにプロ歌手の声と演奏がそれぞれ別に録音されています。

カセットテープ	
1	演奏音
2	歌手の音声
3	歌手の音声
4	演奏音

SIDE 1 または A面  
SIDE 2 または B面

通常、市販されている音声多重テープは左図のように録音されています。



- 音多バランスつまみで演奏または歌声を調節します。
- 音声多重テープの録音の中には、演奏音と歌手の音声が多チャンネル表示とは逆のものもあります。この場合は音声多重つまみの表示と逆に音声側へ回せば演奏音が、演奏側へ回せば歌手の音声が出ます。歌手の音声の部分に演奏音も同時に録音されているテープはつまみを音声側へ回しても歌手の音声と演奏音が混合された音で聞こえます。
- 音声多重テープを使用する場合は、ステレオモードとなりますので、歌手の音声は右側のスピーカーから聞こえます。

## レーザーディスク自動モード切替機能

本機には、レーザーディスク自動モード切替機能を搭載しています。この機能は、手動でモードを切り替える面倒さをなくし、レーザーディスクの種類によって自動的にモードを切り替えるシステムです。

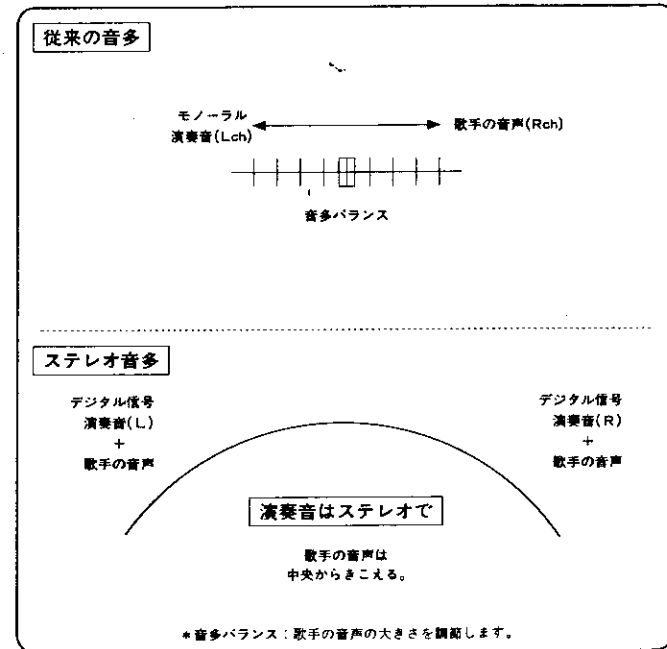
カラオケレーザーディスクには3種類あります。

1. 音多・デジタル : アナログ音声部 (左チャンネル: カラオケ演奏音)  
デジタル音声部 (右チャンネル: 歌手の音声)  
デジタル音声部 (ステレオのカラオケ演奏音)
2. デジタルステレオ: デジタル音声部 (ステレオのカラオケ演奏音)  
アナログ音声部 (ステレオのカラオケ演奏音)
3. 音声多重 : アナログ音声のみ (左チャンネル: カラオケ演奏音)  
右チャンネル: 歌手の音声

- 本機能は、3種類のどのディスクが入っても自動的に判断し、最適なモードを選択し、その表示ランプが点灯します。
- (1) ステレオ音多 : 音多デジタルディスクを再生すると音の良いステレオ演奏をバックに歌手の歌が中央から再生されます。音多バランスまたはお助けボーカルを使用すると歌手の歌だけ消え、デジタルステレオカラオケ演奏となります。
  - (2) ステレオ : デジタルステレオディスクを再生するとデジタルステレオ演奏となります。
  - (3) モノラル(音多) : 音声多重ディスクを再生するとモノラル再生となり、音多バランスまたはお助けボーカルを使用すると歌手の歌だけ消えモノラルのカラオケ演奏となります。

## ステレオ音多について

使用ソフト: LDの音多・デジタル盤[デジタル音声(ステレオ演奏音)/アナログ音声(音声多重)]のみに有効です。



- 音多デジタル盤をセットすると自動的に「ステレオ音多」になります。
- ステレオ音多コントロール部の接続(14、15ページ)がされていない場合は、「レーザーディスク自動モード切替」機能が正常に動作しなくなります。また音多バランスつまみの機能も動作しませんので確実に接続してください。

## DON DON デジタルワイドについて

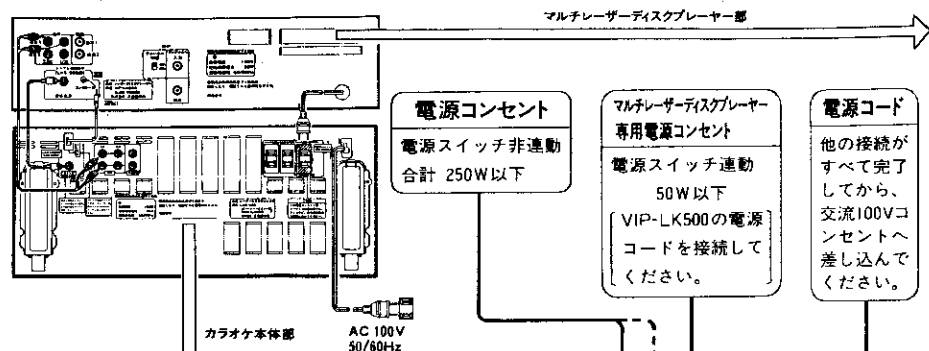
低域専用のアンプおよびスピーカーにより、豊かな低域感を再現するとともに、ステレオアンプと左右の2ウェイスピーカー配置によって、ワイドな音場を実現しています。

### ご注意

- 外部入力端子を使用して入力された音声や、レーザーディスク以外のディスクおよびカセットテープではすべて「ステレオ」モードとなります。
- カセットテープや外部入力で再生する場合、モード表示ランプが「ステレオ」になっていることを確認してください。「ステレオ音多」または「モノラル(音多)」の表示ランプが点灯しているときは、プレーヤーよりレーザーディスクを取り出すと「ステレオ」モードとなります。
- マルチレーザーディスクプレーヤーの電源が入っていない場合や、ステレオ音多コントロール端子の接続がされていない場合は、レーザーディスク自動モード切替機能が正常に動作しなくなりますので、それぞれ確実に接続してください。
- 電源投入時は「ステレオ」モードとなります。

# 7 裏面各部の名称と接続のしかた

## カラオケ本体部 (HAD-LK500)

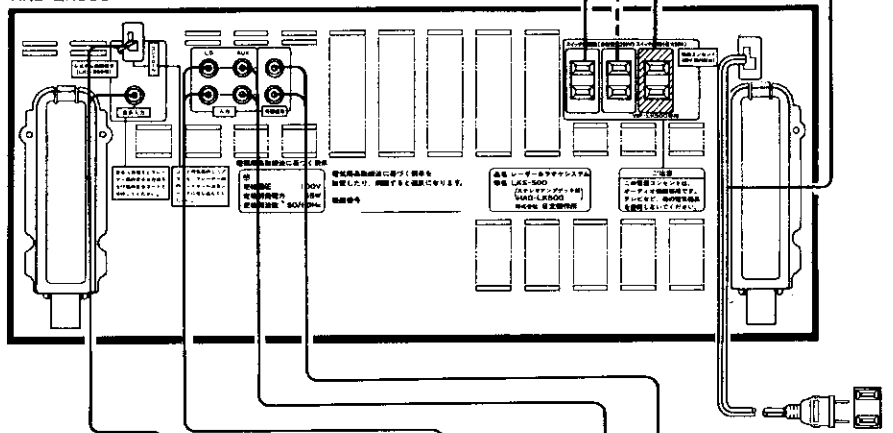


**電源コンセント**  
電源スイッチ非連動  
合計 250W以下

**マルチレーザーディスクプレーヤー専用電源コンセント**  
電源スイッチ連動  
50W以下  
VIP-LK500の電源コードを接続してください。

**電源コード**  
他の接続がすべて完了してから、交流100Vコンセントへ差し込んでください。

HAD-LK500



**ステレオ音多・コントロール入力端子**  
コントロールコード：コードの先端の（先端ミニプラグ）コード  
音多入力：マルチレーザーディスクプレーヤー（VIP-LK500）の音多出力端子と付属の音多コードで接続します。

**LD入力端子**  
マルチレーザーディスクプレーヤー（VIP-LK500）のオーディオ出力端子に付属のオーディオコードで接続します。

**AUX入力端子**  
ビデオデッキなどの音声出力を接続します。

**外部出力端子**  
他の拡声装置を働かせる場合に、お手持ちのアンプと接続します。  
注1)スピーカーから再生される信号と同一の内容が出力されています。

**ご注意**  
本機の外部出力端子とLDまたはAUX入力端子とを他の同一機器に同時に接続することは、絶対におこなわないでください。（故障の原因になります。）

## マルチレーザーディスクプレーヤー部： (VIP-LK500)

**オーディオ出力端子A、B（ピンジャック）**  
HAD-LK500のLD入力端子と接続します。

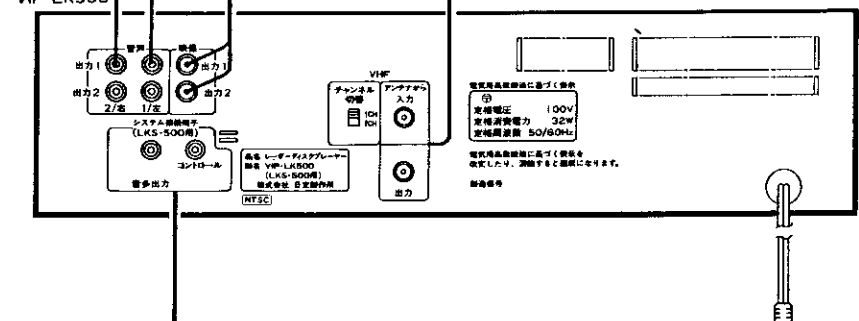
**ビデオ出力端子1、2（ピンジャック）**  
カラーモニターやビデオ入力を持ったテレビなどに接続します。

**アンテナ端子（75Ω、F型ジャック）**  
VHFテレビアンテナからの同軸ケーブルを接続します。VTRを使用している場合はVTRのVHF出力端子と接続します。

**VHF出力端子（75Ω、F型ジャック）**  
テレビのVHF用アンテナ端子と接続します。

**チャンネル切替スイッチ（CH1/CH2）**  
内蔵のVHFコンバーターを切替えます。本機を使用する地域でVHFテレビ放送のおこなわれていない方のチャンネル（空きチャンネル）にします。本機使用時にはテレビをこのチャンネルにすればディスクの映像が映ります。

VIP-LK500



**ステレオ音多・コントロール出力端子**  
音多出力：カラオケ本体部（HAD-LK500）の音多入力端子と付属の音多コードで接続します。  
コントロール出力：カラオケ本体部（HAD-LK500）のコントロールコード先端のミニプラグを差し込みます。

**電源コード**  
HAD-LK500裏面のLDプレーヤー専用電源コンセントにつなぎます。

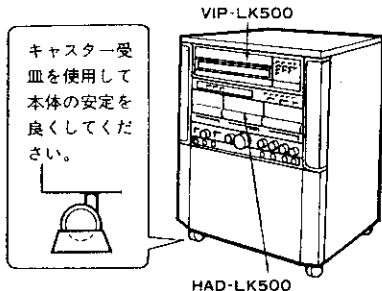
**ご注意**  
ステレオ音多コントロール部の接続がされていない場合は、「LASER DISC自動モード切替」機能が動作しなくなります。また音多バランスつまみの機能も動作しませんので確実に接続してください。



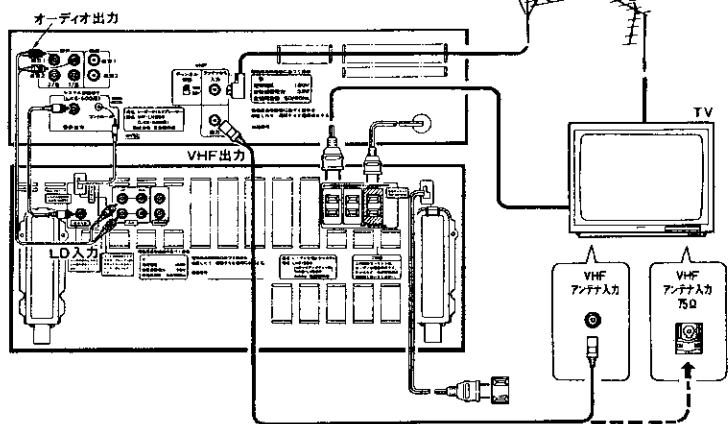
レーザーカラオケの接続

家庭用テレビやカラーモニターを組み合わせるだけで、手軽にご家庭でレーザーカラオケが楽しめます。VTRやテレビチューナーを組み合わせたときにさらに楽しみかたが広がります。

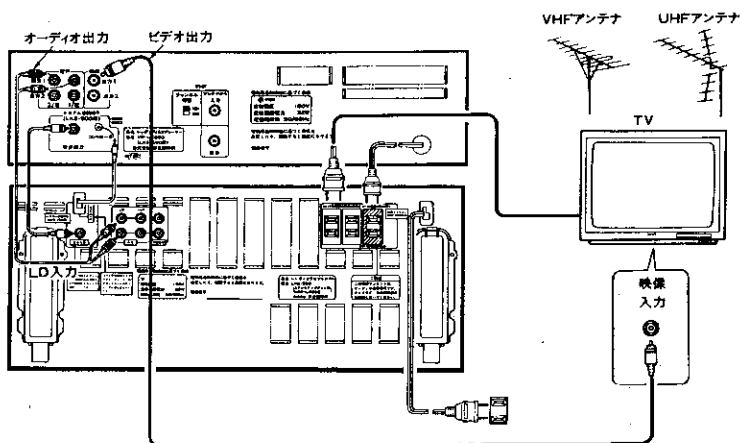
始めに、マルチレーザーディスクプレーヤーを入れます。本体(HAD-LK500)内に挿入するときは、本体の後面部から入れてください。前面のパネル部とマルチレーザーディスクプレーヤーのパネル部が同じ面になるように入れてください。また、プレーヤーのフロントパネル部の左右のすき間が同じになるように設置してください。



〔一般のテレビの場合〕



〔映像入力を持ったテレビの場合〕



本機の電源コンセントを使用してテレビを接続する場合は、スイッチ非運動に接続してください。接続できるテレビは、消費電力が250W以内のものです。250Wを超えるものは、壁のコンセントへ接続してください。

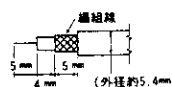
1 VHFテレビアンテナの接続

ご使用のテレビに接続されているVHFテレビアンテナのケーブルをはずし、マルチレーザーディスクプレーヤーのアンテナ端子に接続します。ケーブルの先端がアンテナ端子に適合しない場合には、付属のアンテナアダプターを取付けてください。

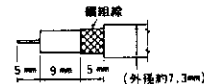
アンテナアダプターの取付けかた

<75Ω同軸ケーブルの場合>

① ケーブルの先端を加工する。



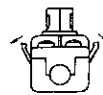
<A> 30-2V型(外径が約5.4mmのケーブル)の場合



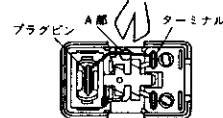
<B> 50-2V型(外径が約7.3mmのケーブル)の場合

② カバーをはずす。

カバーのツメを  
かき外側にひ  
らきながらは  
ずします。

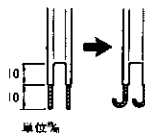


③ プラグピンとターミナル間を接続しているリード線を、A部のあたりでニッパーなどで切断してください。

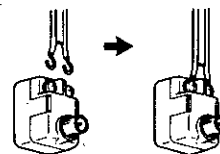


<300Ω平行フィーダーの場合>

① フィーダー線を加工する。

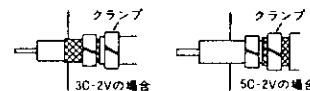


② 300Ω端子に取付ける。

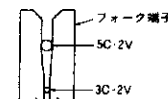


④ 同軸ケーブルを取付ける。

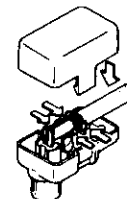
加工済みの同軸ケーブルを下図のようにクランプの上のせて、ラジオペンチなどでクランプをしめてください。



フォーク端子に対して同軸ケーブルの中心導体を圧入します。この時、ラジオペンチを用いるか、両手の指で圧入してください。また、30-2V型と50-2V型では、下図のように圧入の深さが違いますので注意してください。

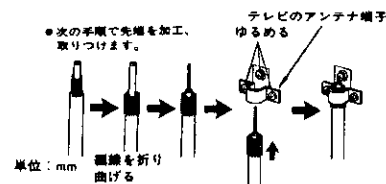


⑤ カバーをもとに戻す。



## 2 テレビへの接続

付属のJ型プラグ同軸ケーブルでマルチレーザーディスクプレーヤーのVHF出力端子とテレビの75Ω VHFアンテナ端子を接続します。テレビのVHFアンテナ端子がF型ターミナルでない場合には、同軸ケーブルの一端を加工して接続してください。

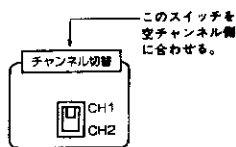


- ※接続コードのプラグはしっかりと差込んでください。差込みかたが不完全ですと、画面にノイズが出たり、雑音が発生する原因となります。
- ※VHFアンテナ入力端子の形状やアンテナ線の取付かたはテレビによってそれぞれ違います。詳細はお手持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- \*ご使用のテレビセットのVHFアンテナ端子が300Ω端子だけで75Ω端子がない場合の接続には変換器が必要です。お買上げの販売店にご相談ください。

## 3 チャンネル切替スイッチを空チャンネルにあわせる

本機はビデオディスクから再生した映像と音声をテレビ放送と同じ信号に変換してテレビの空チャンネル(1または2)へ送り出します。ご使用の地域に1チャンネルの放送がない場合はスイッチをch1側に、2チャンネルの放送がない場合はスイッチをch2側にします。これがビデオディスク再生用のチャンネルとなります。

例 東京地域: ch 2  
大阪地域: ch 1



映像入力を持ったテレビへ接続したときは、以上のことは関係ありません。

## テレビの空きチャンネルの調整 (ファインチューニング)

—映像が不鮮明な場合におこします。—  
ディスクの再生に使用する空きチャンネルと、プレーヤー後面パネルのチャンネル切替スイッチが同じチャンネルになっていることを確認してください。

- ①テレビのチャンネルを空きチャンネル(1または2)にします。
- ②ディスクの再生をはじめます。
- ③鮮明な画像になるように、テレビのファインチューニングをおこないます。  
(ファインチューニングのしかたは、テレビによって違います。ご使用のテレビの取扱説明書を参照してください。)

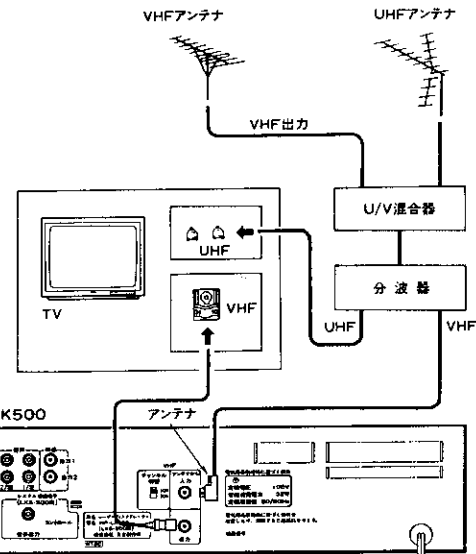
ボタン選局テレビなどで、空きチャンネルを受信しないように調整されている場合には、適当なチャンネルボタンを選んで、ディスク再生用チャンネルとしてプリセットしてください。

- (1)バンド切替をVHF (VHF-1~3, VLなど) に切替える。
- (2)ディスクの再生をはじめます。
- (3)選局用のボタンやつまみなどで、再生の画像がもっとも良く映るように調整する。  
(チャンネルプリセットのしかたは、テレビによって違います。ご使用のテレビの取扱説明書を参照してください。)

## 〔1本のケーブルでVHFとUHF両方の信号が送られている場合〕

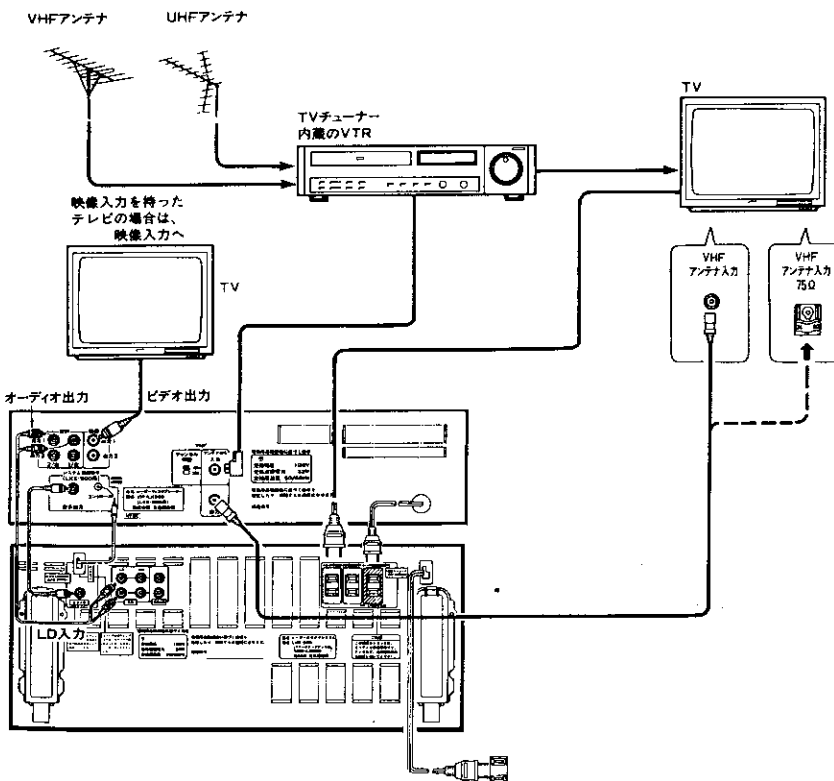
U/V混合器を使ってVHFとUHF両方の信号が1本のケーブルで送られている場合、分波器を使ってテレビにつながれている場合には、次のようにプレーヤーを接続してください。

- (1)分波器からのVHF出力をテレビのVHFアンテナ端子からはずします。
  - (2)はずしたVHF出力を本機のアンテナ端子につなぎます。
  - (3)本機のVHF出力端子とテレビのVHFアンテナ端子をつなぎます。
- 分波器からのUHF出力は、そのままテレビにつないでください。



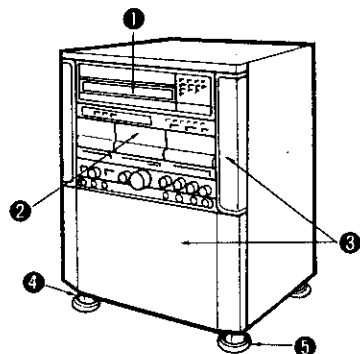
マルチレーザーディスクプレーヤー部(本機)

## 〔VTRを組み合わせる場合〕



## 8 各部の名称と働き

### マルチレーザーディスクプレーヤー部



#### ①マルチレーザーディスクプレーヤー (VIP-LK500) 収納部

マルチレーザーディスクプレーヤーを本体 (HAD-LK500) の後面部から左右のすき間が同じになるようにして、②の前面パネル部とプレーヤーのパネル部が同じになるように挿入してください。

#### ②前面パネル部

①～⑤による。(22～24ページをご覧ください。)

#### ③スピーカー部

#### ④キャスター

#### ⑤キャスター受皿

### 音声モードインジケーター

再生している音声を表示します。

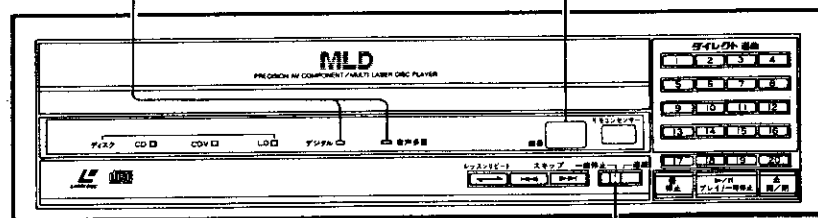
### 曲番/チャプター/トラック表示

曲番またはチャプターナンバー、トラックナンバーなどを表示します。

点灯 ●再生中のチャプターナンバーまたはトラックナンバーを表示、チャプターナンバーが無いとき、— を表示。

●サーチ実行中のサーチ先ナンバーを表示。

消灯 — フレーム/タイムのサーチ中、サーチ入力中。



### 一曲停止/連続切替えボタン

一曲停止モード、連続モードを切替えます。  
一曲停止モードでは選曲した曲の再生が終了すると次の選曲まで一時停止(オートポーズ)となります。一時停止になるのは次のようなときです。

- ダイレクト選曲ボタンで選曲したとき。
- チャプタースキップボタンで選曲したとき。
- ただし、選曲しないで始めから再生したときは、曲の再生が終了しても一時停止はしません。

### ディスクインジケーター

CD : コンパクトディスク (8cmおよび12cm) 再生時に点灯します。

ODV : ビデオ付きコンパクトディスク再生時に点灯します。

LD : レーザーディスク再生時に点灯します。

●ディスクがないときは3つとも点灯します。

●ディスクテーブルの出し入れ時は3つとも点滅します。

### レッスンリピート

一度押すと約5秒手前に戻ります。戻る時間は押す回数により増やせます。(回数×5秒)  
再生中の曲(チャプター)の初めまで戻るとレッスンリピートは終了します。一時停止中に一度押すと再生を始めます。

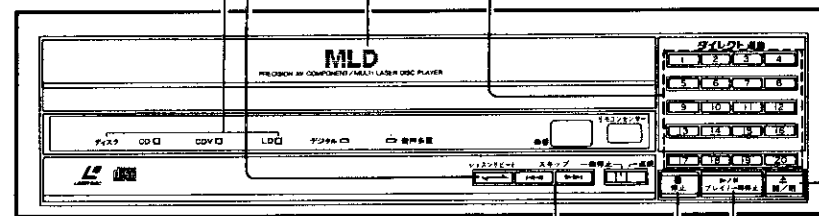
### ダイレクト選曲ボタン ①～⑲

演奏する曲番を選びます。ダイレクトに選曲できます。

### ディスクテーブル

### 開/閉ボタン ▲

ディスクテーブルの出し入れができます。



### スキップボタン (⏮, ⏭)

- レーザーディスク再生時には曲番(チャプター)の頭出しに、コンパクトディスク、ビデオ付きコンパクトディスク演奏時には曲(トラック)の頭出しに使用します。
- プログラムプレイのプログラム入力中には、チャプタースキップ ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタン(プログラム修正ボタンを兼ねる)によって、すでに入力したプログラムの内容を修正することができます。

### 停止ボタン (■)

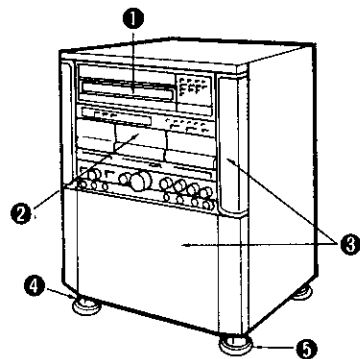
- 再生中に押すと、再生を中止します。

### プレイ/一時停止ボタン (▶/⏸)

- ディスクをセットして押すと、ディスクテーブルが引き込まれ再生をはじめます。
- ディスクが停止中に押すと再生をはじめます。
- プログラム選曲再生(チャプタープログラムプレイ)を開始するとき押します。
- 再生中に押すと一時停止となります。一時停止から押すと止めたところから再生します。

●ディスクテーブルの出し入れは、かならず本体またはリモコンのボタン操作でおこなってください。

カラオケ本体部



① マルチレーザーディスクプレーヤー (VIP-LK500) 収納部

マルチレーザーディスクプレーヤーを本体 (HAD-LK 500) の後面部から左右のすき間が同じになるようにして、②の前面パネル部とプレーヤーのパネル部が同じになるように挿入してください。

② 前面パネル部

①～⑤による。

③ スピーカー部

④ キャスター

⑤ キャスター受皿

カセット1・(録音/再生)部

主としてカセットデッキ2、マルチレーザーディスクプレーヤーでの、カラオケやマイクからの音を録音します。

⑥ カセットドア

カセットテープを入れます。

⑦ 録音ボタン

録音するとき、再生ボタンと同時に押します。

⑧ 再生ボタン

カセットテープを演奏するときに押します。

⑨ 巻戻しボタン

テープを巻戻しするときに押します。

⑩ 早送りボタン

テープを早送りするときに押します。

⑪ 停止/取出しボタン

演奏を止めるときに押し、もう一度押すとカセットドアが開きます。

⑫ 一時停止ボタン

録音または再生中、テープを一時停止するときに押します。  
もう一度押すとテープは動き出します。

カセット2・(再生)部

演奏用デッキです。

⑬ カセットドア

カセットテープを入れます。

⑭ 再生ボタン

カセットテープを演奏するときに押します。

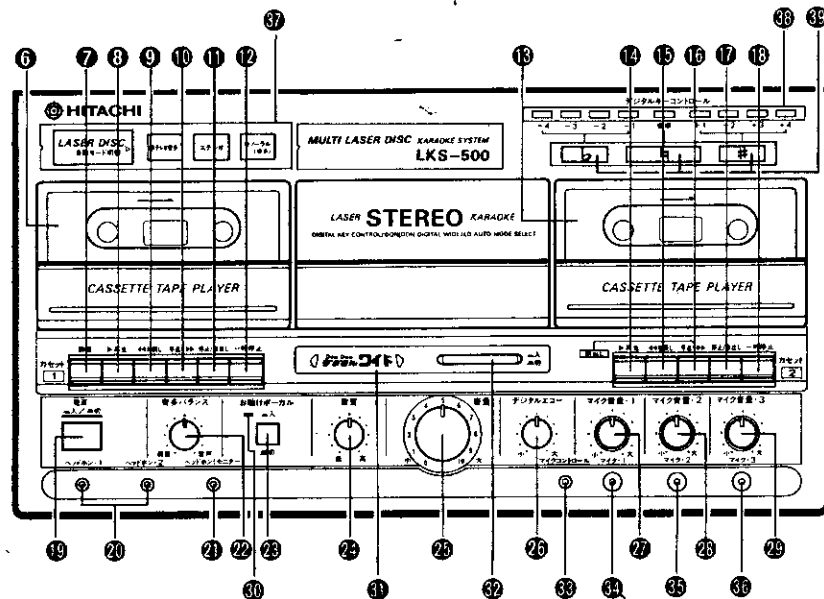
⑮ 巻戻しボタン

テープを巻戻しするときに押します。  
再生中に押すと、自動頭出しになります。

⑯ 早送りボタン

テープを早送りするときに押します。  
再生中に押すと、自動頭出しになります。

【前面パネル部】



⑰ 停止/取出しボタン

演奏を止めるときに押し、もう一度押すとカセットドアが開きます。

⑱ 一時停止ボタン

再生中、テープを一時停止するときに押します。  
もう一度押すとテープは動き出します。

ご注意 カセットデッキ部

- 長時間ご使用にならないときは、カセットボタンを押したままにしておかないでください。故障の原因になります。
- 必ず、停止/取出しボタンを押してください。
- ボタンを無理に押し下したり、引き上げたりしないでください。

調節部

⑲ 電源ボタン

押すと電源が入ります。  
もう一度押すと切れます。

⑳ ヘッドホン端子

(ヘッドホン・1、ヘッドホン・2)  
ヘッドホンを差し込むと、スピーカーからの音が消えます。

㉑ モニターヘッドホン端子

ヘッドホンを差し込んでもスピーカーからの音は、そのまま出ているので、モニター用として使用できます。

ご注意

- ヘッドホンを差し込むときは、音量つまみで音を小さくしてから差し込むようにしてください。大きな音が急に耳に入ると、耳を傷めることがあります。
- ステレオタイプのヘッドホンをご使用ください。

②④ 音多バランスつまみ

音声多重のディスクやテープを使用するときに使います。右(○)に回すと歌手の声が大きくなり、演奏者の音が小さくなります。左(○)に回すと逆になります。

通常は中央の位置にします。レーザーディスク自動モード切替表示ランプがステレオのときは左・右のバランスつまみとなります。

ステレオ音多のときは、歌手の音声だけが左に回すと(○)小さくなります。

②④ お助けボーカル

音声多重ソースを使用するときのみ使えます。「入」にするとマイクから声を入れたときだけ、音声多重ソースの歌手の声が自動的にマイク音声に入れ替ります。練習するときやデュエット曲のときに便利です。

②④ 音質つまみ

マイク音声と演奏を再生した音質を調節します。

②④ 音量つまみ

演奏音の音量を調節します。

②④ デジタルエコーつまみ

エコーを調節します。  
エコーはマイク1・2・3の音声にだけかかります。

②④⑥ マイク音量・1、2、3つまみ

マイク・1、マイク・2、マイク・3の音量をそれぞれ調節します。

②④ お助けボーカル表示ランプ

②④ DON DON デジタルワイド表示ランプ

②④ DON DON デジタルワイドボタン

押すと表示ランプが点灯し、DON DON デジタルワイドが動作します。  
通常は押した状態でお使いください。

②④ マイクコントロール端子

別売の日立マイクロホンUDM-KY50のコントロール用ミニプラグを差し込みます。  
このマイクロホンを使用すると、マイク側でキーコントロールのリモート操作ができます。

②④⑥ マイク1、2、3端子

マイクのプラグを差し込むジャックです。  
3本同時に使えます。

②④ レーザーディスク自動モード切り替え表示ランプ

ステレオ音多：  
音多・デジタルディスク再生時点灯。  
ステレオ：  
デジタルステレオディスク再生時点灯  
電源投入時点灯  
モノラル(音多)：  
音声多重ディスク再生時点灯

②④ キーコントロール位置表示ランプ

電源投入時や「リ」ボタンを押すと標準ランプが点灯します。  
「#」「b」ボタン操作により+4~-4までの表示ランプで音程の位置を表示します。

②④ キーコントロールボタン

音程を調節します。  
「#」「b」それぞれ1回押すごとに半音づつ変化します。最大4段階(±2音)の調節ができます。  
「リ」ボタンを押すと元の音程に復帰します。

ご注意：

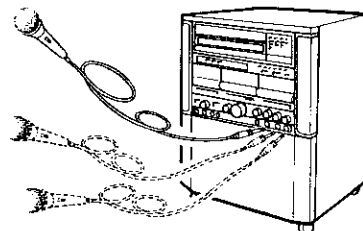
●音声多重レーザービジョンディスクで歌手の声(右チャンネル)側に演奏も一緒に入っている場合では、お助けボーカルを「入」にしてマイクから声を入れたときに演奏音の音量が若干小さくなる場合があります。

9 操作のしかた (お使いになる前に14~24ページの「裏面各部の名称と接続のしかた」・「各部の名称と働き」をよくお読みください。)

準備

カセットテープとレーザーディスクを同時に再生すると、両方の音が同時に聞こえますので、ご注意ください。

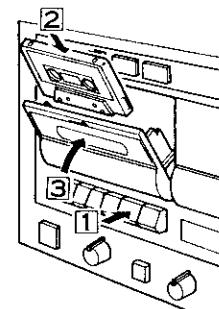
■マイクのつなぎかた



マイクをつなぐ前に、音量、マイク音量・1~3つまみを「小」の位置におきます。

マイク端子に別売のマイク(1kΩ以下)をつなぎます。  
マイク3本を使う場合は、3本とも同一性能のものをお使いください。

■カセットテープの出し入れ



- 1 停止/取出しボタンを押します。
- 2 カセットテープを入れます。  
(録音または再生したい面を手前に、テープ面を下にして。)
- 3 カセットドアを閉めます。

カセットの演奏 (カセットデッキ1、2)

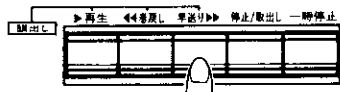
1		電源ボタンを押して、電源を入れます。
2		カセットドアをあけて、テープを入れます。
3		再生ボタンを押します。 テープが最後まで巻取られますと、オートストップ機構により自動的に再生ボタンが戻ります。
4		DON DON デジタルワイドボタンを押します。 音量つまみを10時程度の位置まで回し、そのあとマイク音量・1~3をそれぞれ調節します。 再度、音量つまみで適度に調節します。 音質つまみもお好みの音質にあわせて適度に調節します。
5		エコーつまみで、エコーを調節します。 (右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。)

エコーはマイク音声のみに効きます。

### カセット・2の自動頭出し

市販されているミュージックテープなどに録音されている各曲の初めの部分を見つけ出し、自動的に曲の初めから演奏する機構です。

**1**  
演奏を中断して次の曲を聞くととき。



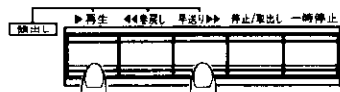
早送りボタンを押します。曲の前(曲間)で早送りボタンを押すと2曲目が演奏されます。

**2**  
演奏している曲の初めからやりなおすとき。



巻戻しボタンを押します。曲が終わってから(曲間)または次の曲が始まってすぐ押しても、今まで演奏していた曲の初めからもう一度演奏します。

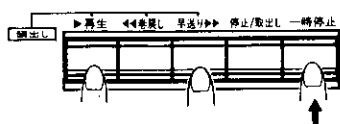
**3**  
停止状態から頭出しをするとき。



**1** 再生ボタンと早送りボタン両方を押します。  
●曲の途中で止まっていた場合は次の曲を演奏します。  
●曲が終わったところ(曲間)に止まっていた場合は、2曲目を演奏します。

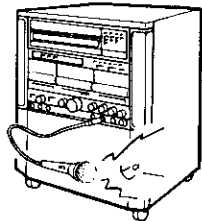
**2** 再生ボタンと巻戻しボタン両方を押します。  
●曲の途中で止っていた場合は、その曲を初めから演奏します。  
●曲が終わったところ(曲間)に止まっていた場合は、前の曲を演奏します。

**4**  
一時停止ボタンを使ってスタンバイができます。



一時停止ボタンを押して頭出し操作をすると、頭出しした状態で一時停止し、スタンバイができます。歌う人の準備ができたときにもう一度一時停止ボタンを押すと演奏を始めます。

### ハウリング音について



マイクをスピーカーに近づけすぎるとハウリング音(ビー音)がでます。この場合は、マイクをスピーカーから遠ざけるか、または音量(またはマイク音量)つまみで音を小さくします。エコーがかかっている場合は、ハウリング音の起りやすい状態にあります。

### カセット・1で録音するとき

カラオケ(カセットテープ、レーザーディスクなど)をバックに歌声を録音することができます。

**1** 録音ができるテープ(ツメの折っていないテープ)を「カセット・1」に入れます。テープはノーマルテープをご使用ください。

**2** 「カセット・1」の一時停止ボタンを押します。

**3** 「カセット・1」の録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。

**4** マルチレーザーディスクプレーヤー「カセット・2」に再生用カラオケディスクまたはテープのどちらかを入れます。

**5** カラオケの演奏をおこないます。

**6** 演奏が始まる少し前に「カセット・1」の一時停止ボタンを再度押し、録音を開始します。マイク音量つまみの位置により録音状態が若干異なるため録音される場合は、失敗防止のため一度試し録音されてから、本録音されることをおすすめします。

●レーザーディスク以外のソースで録音するときは、「ステレオ」モードになっていることを確認してください。(3、12ページ参照)

●録音する場合は、少しテープを走行させて、リーダーテープ部が終わったところより始めてください。

### 録音した音を消去するとき(カセット・1のみ)

録音済のテープをあらたに録音すると、前の録音は自動的に消えますが、新しく録音しないで前の録音を消すときは、次のようにしてください。

**1** 消去するカセットテープを「カセット・1」に入れます。

**2** マイクホンはセットから抜いてください。マルチレーザーディスクプレーヤー「カセット・2」は停止状態にしてください。

**3** 音量つまみ、マイク音量つまみを「小」にします。

**4** 録音ボタンと再生ボタンを同時に押し、ロックさせるとテープが走行し消去が始まります。

**5** 消去が終わったら、停止/取出しボタンを押してください。

●カセットテープの消去防止用のツメが折ってあるときには、録音ボタンが押せません。

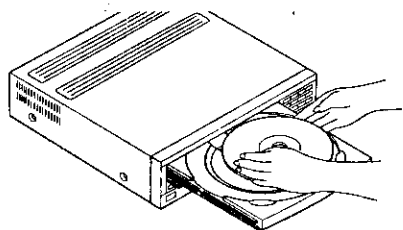
### 自動頭出し用曲間(無録音部分)のつくりかた

- 音量つまみとマイク音量つまみを「小」にします。マイクホンはセットから抜いておいてください。マルチレーザーディスクプレーヤーおよびカセット・2は停止状態にしてください。
- 録音状態で5秒間以上テープを走行させると、曲間ができます。

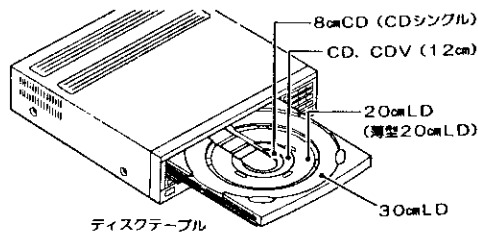
## ディスク (CD・CDV・LD) の出し入れ

### ディスクのセットのしかた

- 演奏する面のレーベル (ディスクの内側に表示されている内容) を上にしてください。



いろいろなディスクの大きさ



#### <ディスクテーブルのご注意>

- ディスクテーブルの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行なってください。
- ディスクテーブルに力を加えたり、重い物をのせると故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本機とディスクテーブルの間に指をはさまないようにご注意ください。

#### <ディスクのセットのご注意>

- 一度にセットできるディスクは1枚です。2枚を重ねてセットすると故障の原因となります。また、ディスクを傷つけます。ディスクは1枚だけセットしてください。
- 8cm CD シングルは、アダプターを使用せずにそのままセットしてください。
- 演奏面 (虹色に光っている面) に手がふれないようにしてください。
- CD、CDVはかならずレーベル面を上にしてセットしてください。
- LDの片面ディスクはかならず曲名の書いている面を上にしてセットしてください。
- 薄型20cm CD シングルは、アダプターを使用せずにそのままセットしてください。

## レーザーカラオケ演奏を止めるには


- 1 開/閉ボタンを押す。
- 2 ディスクを取出す。
- 3 開/閉ボタンを押してディスクテーブルを閉じる。
- 4 ディスクインジケータの点滅が終わったら、電源スイッチを押して、電源を切る。
- 5 マイクをはずす。

\*ディスクテーブルを開いたままにしないでください。

\*使い終わったディスクは必ずプレーヤーから取出し、ジャケットまたはケースに入れて垂直に保管してください。

## LD/CDカラオケの演奏

- 1 「裏面各部の名称と接続のしかた (14~19ページ)」に従って、マルチレーザーディスクプレーヤーVIP-LK500を接続してください。

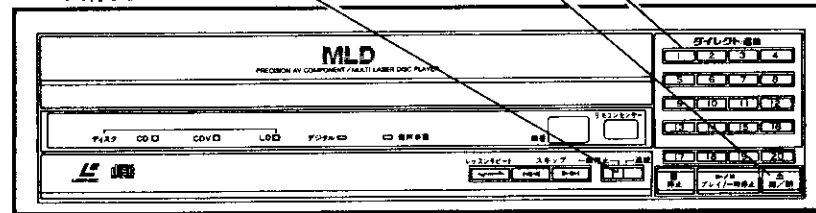
- 2  電源ボタンを押して、電源を入れます。

- 5 選曲する ●ディスクテーブルが中に入り再生を始める。 ●一曲終了したら選曲ボタンで次の曲を選ぶ。

**MULTI AUDIO**  
マーク付きのディスクの場合自動的にデジタルステレオ演奏音で音多が楽しめます。

- 4 ▲開/閉ボタンを押し、ディスクをセットする。

- 3 \*一曲停止\* 側にする。



- 6 DON DON デジタルワイドボタンを押します。音量つまみ、マイク音量つまみ、音質つまみ、エコーつまみを

それぞれ適度に調節します。 ●音多の歌手の音声は音多バランスで調節できます。

#### ご注意

- 曲番の訂正  
一度指定した曲番の選曲動作中または演奏中に、指定曲番を訂正したい場合は、訂正したい曲番を押し直してください。
- ディスクテーブルの取り出しは、プレーヤー本体またはリモコンのボタン操作でおこなってください。
- ディスクのテーブルを閉じるときは、ダイレクト選曲ボタンまたは開/閉ボタンでおこなってください。(手でディスクテーブルを押して閉じるとは故障の原因となりますので、ご注意ください。)
- CDでの再生はすべてステレオモードとなります。

## 知っておくと便利な機能

### 歌うと自分だけの声になる

#### “お助けボーカル”をするには

音声多重カラオケを再生中、お助けボーカルボタンを押します。

たとえば……

デュエット曲で、男性(女性)パートだけ歌い女性(男性)パートは歌手にまかせることができます。男性(女性)パートだけの練習などに便利です。



## カラオケ以外のディスクを楽しむ

### 1 電源ボタンを押し、電源を入れる。

### 2 1曲停止/連続切替ボタンを、“連続”側にします。

■これで、連続モードになります。

### 3 ディスク開/閉ボタンを押す。

### 4 ディスクをセットする。

### 5 プレイボタンを押す。

■ディスクテーブルが引き込まれ再生をはじめます。

■プレイボタンのかわりに、リモコンの再生ボタン、チャプター▶▶ボタン、数字ボタン(ダイレクト選曲)や、プレーヤー本体のダイレクト選曲ボタンも使用できます。

### 6 再生がはじまったら、音量・音質を調整する。

■リモコンによる再生は、31ページ以降をご覧ください。

### 同じところをくり返して練習したいときには

レッスンリピートボタンを押します。

1回押すと、約5秒手前に戻ってから再生を再開します。

何回も押すと、押した回数×5(秒)、手前に戻りますが、選曲した曲の最初まで戻ると、それ以上は戻りません。

一時停止状態からレッスンリピートボタンを1回押すと再生を再開します。

## 歌う順番に予約ができる

### プログラム選曲機能

#### 予約は、リモコンを使用します。

詳しくは、46ページを参照してください。

## テレビ放送を見る

この取扱説明書の接続例(16ページ)のように、VHFアンテナを本機を経由してテレビへ接続している場合には、次のいずれかの状態にすると、通常の操作によるテレビ放送の受信ができます。

#### ■電源を切る

電源を切る場合には、まず“レーザーカラオケ演奏を止めるには”(28ページ)の手順にしたがってディスク再生を中止してください。

#### ■リモコンのTV/LDPボタンを押す。

いずれの場合も、VHFアンテナからの信号は、そのままテレビへ送られます。

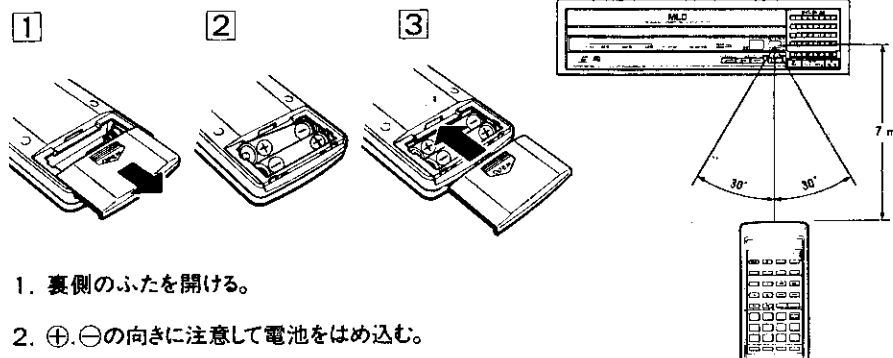
#### ●注意

テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れた状態でリモコンのTV/LDPボタンによりテレビ放送の受信に切替えると画面にしま模様が入ることがありますが、故障ではありません。このようなとき、または長時間テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってテレビ放送をご覧ください。

映像・音声入力端子を持ったテレビの場合  
接続例(2、16ページ)のようにテレビの映像入力端子を使っている場合には、テレビ側で切替えてください。

## 10 リモコン操作

### リモコンの準備



#### 1. 裏側のふたを開ける。

#### 2. ⊕、⊖の向きに注意して電池をはめ込む。

#### 3. ふたを閉める。

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂するなどの危険があります。

次の点について特にご注意ください。

1. 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

●赤外線の出る機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用すると本機が誤動作することがあります。逆に、赤外線信号によってコントロールされる機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。誤動作の起きないよう、設置場所を変えてください。

●リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。

●長い間(約1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

●リモコンの上に本などを置かないでください。ボタンが押されつづけ、電池が消耗してしまうことがあります。



各部の名称と働き (リモコンの電池の入れかたは、31ページを参照してください。)

特に説明のないボタンは、プレーヤーに付いているボタンと同じ働きをしますので、前面部の項(20、21ページ)を参照してください。

停止/取出し(■/▲)ボタン

再生中止やディスクの取出しに使います。  
1回目：ディスクの回転が止まります。  
2回目：ディスクテーブルが所定の位置まで出てきます。  
ディスクがセットされていない場合およびディスクが回転していない場合には、1回目でディスクテーブルが出てきます。

□、+ ボタン

マルチスピード再生のスピード設定に使います。  
(⇒43ページ)  
\*速さや向きを変えて再生する\*

マルチスピードボタン(◀、▶)

LDの標準ディスクだけの機能：  
▶側を押すと、あらかじめ設定されたスピードで正方向へ再生します。  
◀側を押すと逆方向へ再生します。(いずれの方向も音声は出ません)  
スピードは□、+ ボタンで設定します。  
(⇒43ページ)  
\*速さや向きを変えて再生する\*  
●長時間ディスクでは機能せず、画面に“CLV”と表示します。

数字ボタン(0~9、+10)

表示切替ボタン

画面にカラオケ演奏、チャプターやフレーム(またはタイム)、トラックの現在状態を表示・消去するのに使います。  
(⇒34ページ)

一時停止(II)ボタン

押すと再生が一時停止します。もう一度押すと止めたところから再生を再開します。

リピート始、終ボタン

リピート再生をおこなう場合に使います。  
(⇒44ページ)

静止/コマ送り

(◀II、II▶)ボタン  
LDの標準ディスクだけの機能：  
●標準ディスク再生時にどちらか一方を押すと静止画再生になります。その後、II▶側を押すとコマ送り、◀II側を押すとコマ戻しします。  
●長時間ディスクでは機能せず、画面に“CLV”と表示します。

チャプター/トラックプログラム修正ボタン

(I◀◀、▶▶I)  
プレーヤー前面のスキップボタンと同じ機能です。

サーチ/メモリーボタン

サーチとしての機能：  
●サーチ操作を実行するとき押します。  
メモリーとしての機能：  
●メモリーは繰返しを実行するとき押します。

CXボタン

CXシステムのON/OFFボタンです。  
(⇒36ページ\*音声の再生\*)

音声モニターボタン

音声チャンネルの切り替に使います。電源を入れたとき、プレーヤーはステレオモードになります。このボタンを押すたびにI/L→2/R→(ステレオ)→I/L...と順に切り替わります。  
(⇒36ページ\*音声の再生\*)

早送り、早戻しボタン (SCAN)

再生(演奏)がはじまったあと、押している間早送りまたは早戻しします。  
▶▶：早送り、◀◀：早戻し  
LDでは速度は2段階になっています。押しはじめてから約2秒間は低速、その後高速になります。

チャプター/フレーム・タイムトラック/タイムボタン

見たい場面や聞きたい箇所を呼出す(サーチ操作)のときに使います。(CD、CDV⇒38ページ)  
(LD⇒41ページ)

プログラムボタン

●プログラム選曲をするときに使います。  
●チャプター(レーザーディスク)や曲(コンパクトディスク、ビデオ付コンパクトディスク)の順序をかえて見る・聞く(プログラム再生)に使います。  
(46ページ)

オートデジタル/アナログボタン

デジタル音声付きレーザーディスク再生時にプレーヤー後面のオーディオ出力端子から出力される音声を選択します。  
デジタル音声の記録されていないレーザーディスクと、コンパクトディスク、ビデオ付きコンパクトディスク再生時には、このボタンは無効です。

TV/LDPボタン

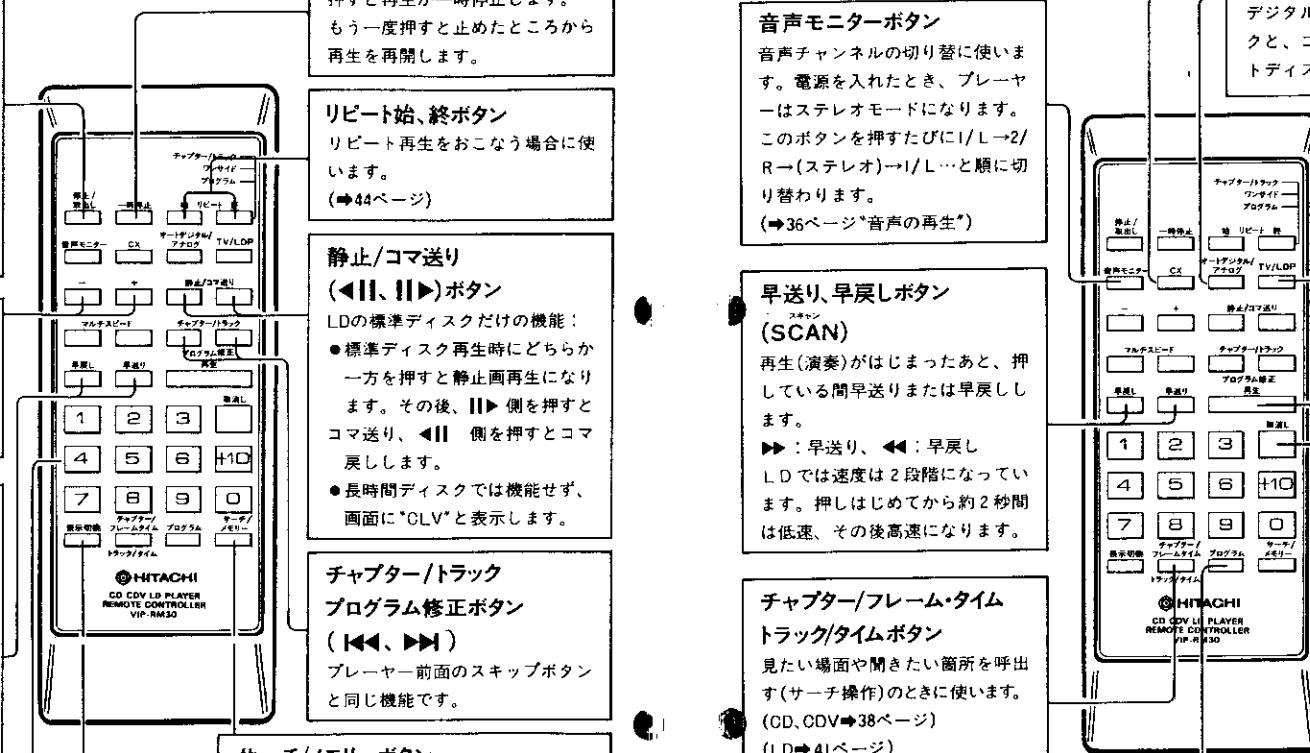
VHFアンテナが本機を経由してテレビにつながれている場合に、ディスクの再生とテレビ放送の受信とを切り替えます。

再生(▶)ボタン

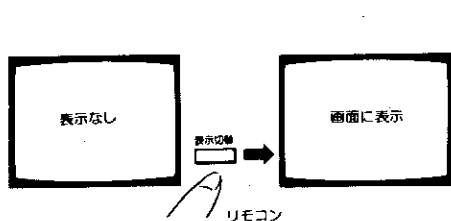
通常再生をはじめるときに押しします。  
●プログラム選曲(チャプタープログラム)後に押すと、プログラム選曲再生(チャプタープログラムプレイ)をはじめます。  
(⇒46ページ)  
\*順序をかえて見る・聞く\*

取消しボタン

次のような場合に使います。  
●リピート再生を解除するとき。  
●サーチ動作を中断するとき。  
●数字ボタンによる入力を訂正するとき。  
(続けて押すと数値入力モード自体もクリアします。)  
●プログラム入力中や修正中に“▶”の付いたステップを消去するとき。  
●プログラム選曲(プログラムプレイ)を解除するとき。



表示切替について



●最初に押すと画面に表示します。

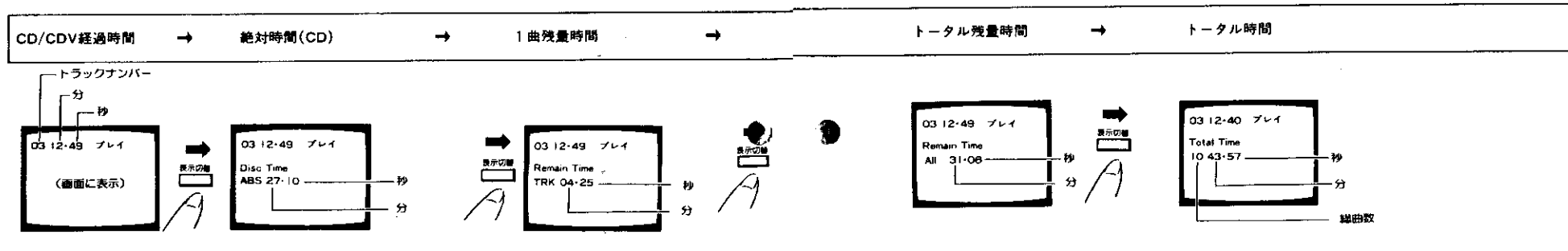
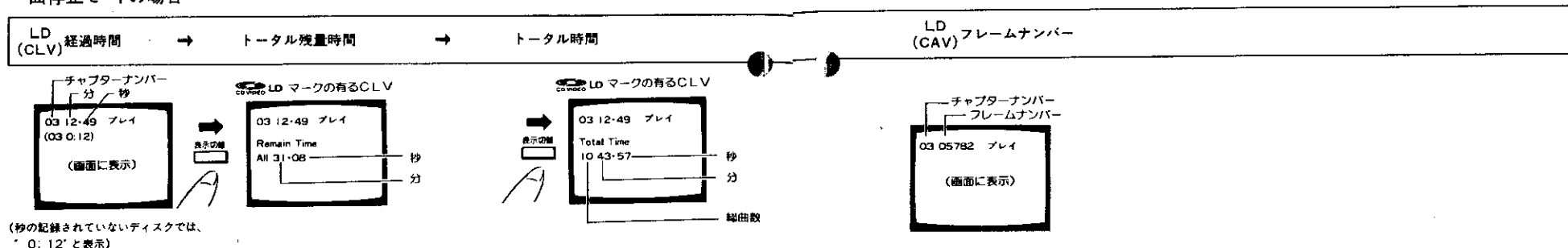
LD マークの有るLD(CLV)では…  
このボタンを押すことに、次のように替わります。  
経過時間 - Remain Time All (トータル残量時間) - Total Time (トータル時間) - 画面表示が消える。

LD マークの無いLD(CLV)では…  
このボタンを押すことに、次のように切替わります。  
経過時間 - 画面表示が消える。

LD(CAV)では…  
このボタンを押すことに、次のように切替わります。  
チャプターナンバー/フレームナンバー - 画面表示  
消える。  
CDVでは…  
ボタンを押すことに、次のように切替わります。  
経過時間 - Remain Time TRK (1曲残量時間) - Remain Time All (オーディオパートまたはビデオパートのトータル残量時間) - Total Time (オーディオパートまたはビデオパートのトータル時間) - 画面表示が消える。

CDでは…  
ボタンを押すことに、次のように切替わります。  
経過時間 - Disc Time ABS (絶対時間) - Remain Time TRK (1曲残量時間) - Remain Time All (トータル残量時間) - Total Time (トータル時間) - 画面表示が消える。

一曲停止モードの場合



その他の表示とその内容

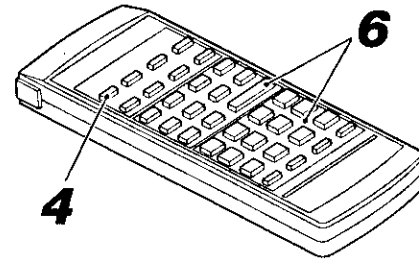
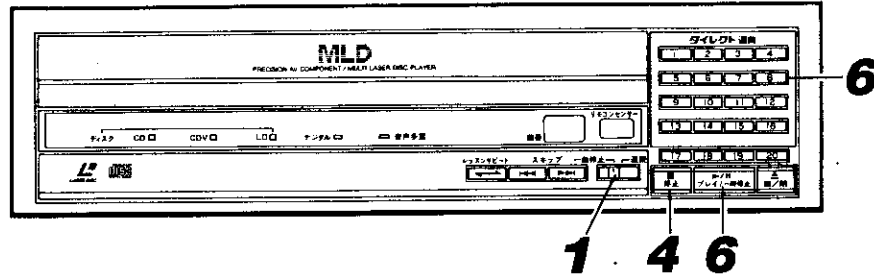
内 容	カラオケモード	標準モード	内 容	カラオケモード	標準モード	内 容	カラオケモード	標準モード
一曲停止	カラオケ	-	デジタル音声	デジタル	Digital	A点メモリー	A-	A-
選 択	-	標準	A-Bリピート	A-B	A-B	A-Bリピート	A-B	A-B
ディスクテーブルを開く	オープン	OPEN	音声多重	-	-	チャプターリピート	チャプター	Chapter
ディスクテーブルを閉じる	クローズ	CLOSE	主音声/左チャンネル	Lch	Lch	トラック	トラック	Track
再生	プレイカラオケ	PLAY	副音声/右チャンネル	Rch	Rch	サイド	サイド(-A, -B)	Side(-A, B)
停止	ストップ	STOP	CDVのオーディオリサーチ	Video	Video	プログラム入力/再生	プログラム	Program
一時停止	ポーズ	PAUSE	CDVのビデオリサーチ	Audio	Audio	プログラム入力/録	ステップ	Step
静止画再生	ステイル	STILL	サーチ	サーチ	Search	レッスンリピート	ワンスモア	ワンスモア
アナログ音声	アナログ	Analog	チャプター(曲書)	チャプター	Chapter	繰返(解除)	OFF	OFF
ステレオ音声	ステレオ	Stereo	繰返し再生	リピート	Repeat	CXのオン/オフ	CX-ON(OFF)	CX-ON(OFF)

表示の用語について

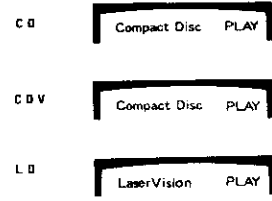
- 経過時間……………現在演奏中のチャプター/トラックナンバーと演奏時間。
- 絶対時間……………ディスクの始めからの経過時間。
- 一曲残量時間……………演奏中の曲の残り時間。
- トータル残量時間……………演奏中のところからディスクの最後まででの演奏残り時間。(CDVでは現在再生しているパートの最後まで)
- トータル時間……………ディスク一枚の総曲数・総演奏時間。(CDVでは現在再生しているパートの総曲数・総演奏時間)

カラオケ以外でディスク再生を楽しむとき

CD (コンパクトディスク) CDV (ビデオ付コンパクトディスク) LD (レーザーディスク) を聞く・見るには



演奏開始時の表示例



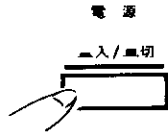
●3-6は29ページ「LD/CDカラオケの演奏」も参照してください。

**1** 一曲停止/連続切替スイッチを「連続」にします。



**2** テレビまたはモニターの電源を入れる。

**3** 電源スイッチを押して、電源を入れる。



音声の再生

＜音声の切替＞

- ステレオディスクの片チャンネルだけを聞く。
- 音声多重ディスクの音声を選ぶことができます。リモコンの音声モニターボタンを押します。

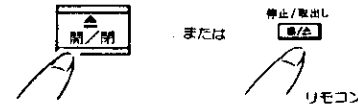
押す回数	ステレオディスク	音声多重ディスク
1回	L(左)	音声1/L(左)
2回	R(右)	音声2/R(右)
3回	ステレオ	音声1/L(左)と音声2/R(右)

＜CXマーク付LDディスクについて＞

- マークの付いたLDディスクでは、GXノイズリダクションにより、ダイナミックレンジが広く、雑音の少ない音声が得られます。
- マークの付いているディスクの中には、CXシステムの自動的に入・切替するコードが記録されていないものがあります。このようなディスクでは、リモコンのCXシステムボタンを押してCX ONにしてください。
- はCBSの商標です。本プレーヤーはCXの特長仕様に合わせてつくられています。

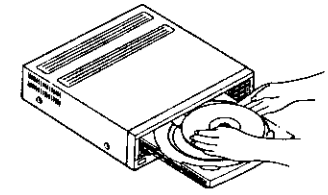
**4** 開/閉ボタンを押す。(またはリモコンの取出しボタンを押す。)

- ディスクテーブルが出ます。



**5** ディスクをテーブルの上ののせる。

- ディスクの大きさに合わせて、のせてください。(→28ページ参照)



**6** 演奏を始める。

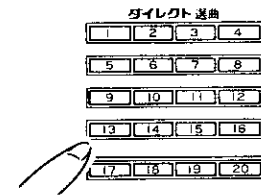
ディスクの始めから演奏する場合

再生ボタンを押します。  
(CDVはビデオパートから演奏します。)



好きなチャプター/トラックから演奏する場合

前面またはリモコンの数字ボタンを押します。



＜テレビの放送が見なくなった場合＞

- 一般のテレビを使用している場合は、本機の電源を切るか、またはTV/LDPボタンを押してください。
- AVテレビを使用している場合は、テレビ側で切替えてください。

＜数字ボタンで希望の曲から演奏する場合のご注意＞

- 前面のボタンで操作する場合:  
●20曲目までは、ボタンでダイレクトに曲番を指定します。
- 20曲目以上を指定するときは、ボタンを押した後ボタンで1曲づつ送ります。
- リモコンで操作する場合:  
●1-9曲目までは、ボタンでダイレクトに曲番を指定します。

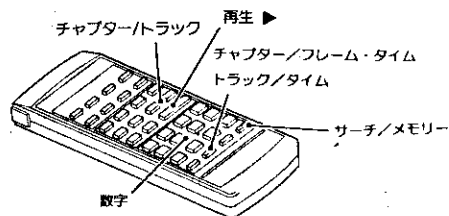
- 10曲目以上を指定するときは、10の位をボタン、1の位をボタンで指定します。ボタンを押した後に続けて、ボタンを押すと、10の位が2、3・・・と増えます。

演奏を一時的に止めるには……一時停止ボタンを押します。  
演奏を止めるには………停止ボタンを押します。  
ディスクを取出すには………開/閉ボタンを押します。  
(28ページ「レーザーカラオケ演奏を止めるには」参照)

CD・CDV

希望の曲から演奏する

サーチ



希望の曲番号を指定する場合(ダイレクトサーチ)

〔例〕3曲目から演奏する場合

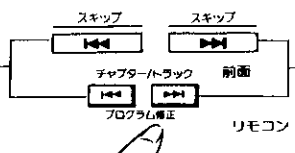


〔他〕26曲目から演奏する場合



曲の頭出して探す場合(トラックサーチ)

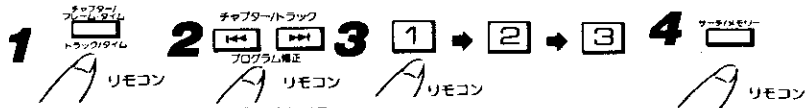
はじめに押しと、現在演奏中の曲のはじめに戻り、次に押しと前の曲のはじめに戻ります。押しつづけると連続して変化します。



押しごとに、次の曲のはじめに進みます。押しつづけると連続して変化します。

希望曲の好きなどを指定する場合(トラック/タイムサーチ)

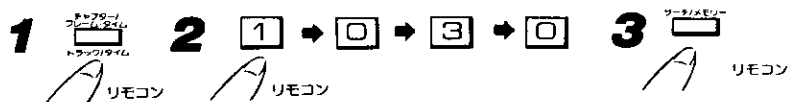
〔例〕3曲目の1分23秒から演奏する場合



●2の操作後にサーチ/メモリーボタンを押すと3曲目の最初から演奏します。

最初からの経過時間を指定する場合(絶対時間サーチ)(CDのみ)

〔例〕ディスクの最初から10分30秒のところから演奏する場合



●画面にABS表示を出してください。異った表示のときは、何回か押ししてください。

<ダイレクトサーチで希望の曲から演奏する場合のご注意>

前面のボタンで操作する場合:

- 20曲目までは、[1]~[20]ボタンでダイレクトに曲番を指定します。
- 20曲目以上を指定するときは、[20]ボタンを押した後[▶]ボタンで1曲づつ送ります。

リモコンで操作する場合:

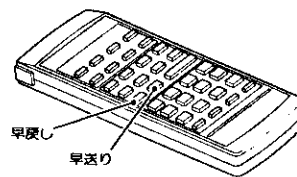
- 1~9曲までは、[1]~[9]ボタンでダイレクトに曲番を指定します。

- 10曲目以上を指定するときは、10の位を [+10] ボタン、1の位を [0]~[9] ボタンで指定します。 [+10] ボタンを押した後に続けて [+10] ボタンを押すと、10の位が2、3・・・と増えます。

<指定番号の訂正と解除について>

- ダイレクトサーチをのぞくサーチの番号指定のとき、数字ボタンを押し間違えたら、取消しボタンを押してから入れ直します。
- 解除するときは、取消しボタンを押して0の表示にした後、もう一度取消しボタンを押すと解除します。

早送り・早戻し



スキなどところから演奏する場合(早送り・早戻し)

- CD・CDV(オーディオパート)の場合
- 演奏中: 小さな音が聞こえます。
- 一時停止中: 音は出ません。

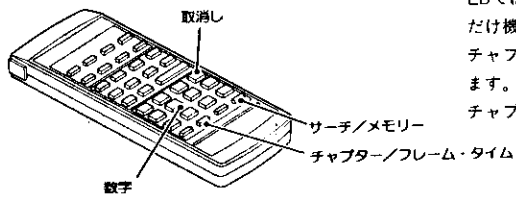
早戻しをします。 [早戻し] [早送り] 早送りをします。

- CDV(ビデオパート)の場合
- 音は出ません。

[A] リモコン 指を離すと演奏します。

## 見たい場面を呼び出す

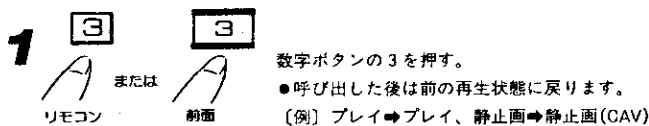
## ダイレクトサーチ/チャプターナンバーサーチ



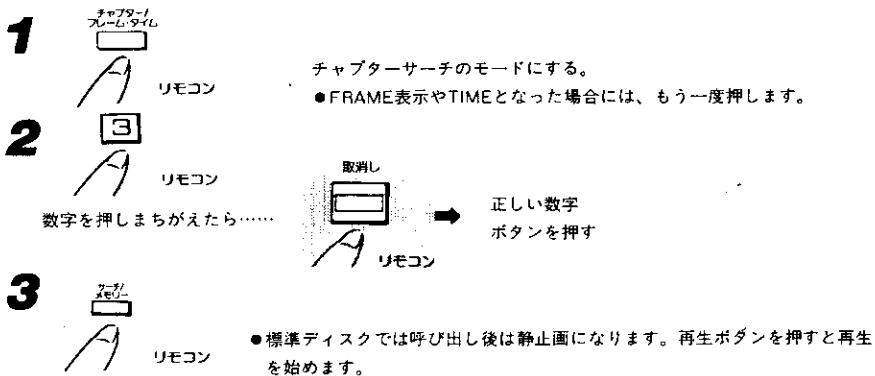
LDでは、チャプターナンバーの記録されたディスク  
だけ機能します。  
チャプターとは、書物における「章」番号に相当し  
ます。  
チャプターの番号を指定して呼び出します。

【例】LDのチャプター3のはじめをサーチする場合

## ダイレクトサーチ



## チャプターナンバーサーチ



## &lt;チャプターナンバーサーチ手順の省略について&gt;

●チャプター/フレーム・タイムボタンを押したときに画面に表示される数値と同じサーチであればそのままサーチ/メモリーボタンを押せばサーチできます。

## &lt;カラオケモードでのサーチでは……&gt;

サーチ終了後は、再生状態やディスクの違いにかかわらず通常再生になります。

## &lt;ダイレクトサーチまたはチャプターナンバーサーチによる

## 再生の開始&gt;

ディスクテーブルにディスクをセットし、ダイレクトサーチまたはチャプターナンバーサーチの操作をおこなうと、指定したチャプタ

ーのはじめから再生します。また、いったん再生をやめてディスクの回転が止まっている状態からダイレクトサーチまたはチャプターナンバーサーチによって再生を再開することもできます。これらの場合にはサーチ後はプレイ(通常再生モード)となります。

## &lt;チャプターナンバーサーチの解除&gt;

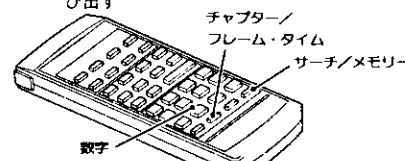
番号入力操作中であれば取消しボタンを押し、数値が0の表示となったあとでもう一度取消しを押すとサーチモードは解除されます。

## &lt;サーチ実行中の解除&gt;

サーチ実行中に取消しボタンを押せばサーチ動作を中止し、サーチ途中の映像ができます。

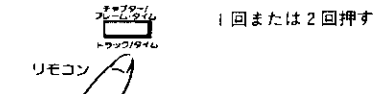
タイムナンバーサーチ  
(長時間ディスクCLVのみ)

【例】ディスクの最初から12分経過後の映像を呼び出す

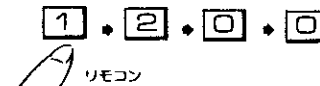


## 1 タイムナンバーサーチモードにする

ボタンを押すごとに、画面の表示はCHAPTERまたはTIMEに変わります。



## 2 数字ボタン1200と押す



## 3 サーチ/メモリーボタンを押す



サーチ後は通常再生になります。

## &lt;ちょっとした豆知識&gt;

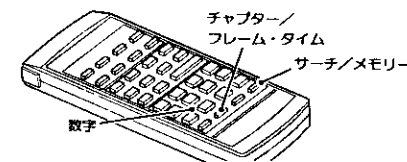
- タイムナンバーとは、長時間ディスクCLVに記録されているディスクの初めからの経過時間のことです。
- フレームナンバーとは、標準ディスクCAVに記録されている画面の1つ1つに連続して付けられている番号です。書物における「ページ」に相当します。

## &lt;タイムナンバーサーチの数値の入れかたの注意&gt;

- サーチするタイムを数字ボタンで指定する場合、「秒」の記録されたディスクと、「秒」の記録されていないディスクでは、同じボタン操作でも入力されるタイムが違ってきます。例えば数字ボタンで、①、②と押した場合の指定サーチタイムは、●「秒」の記録されたディスクでは、TIME 00:12となり、0分12秒の映像のサーチです。
- 「秒」の記録されていないディスクでは、TIME 00:12となり、12分の映像のサーチとなります。

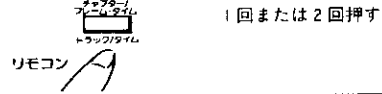
フレームナンバーサーチ  
(標準ディスクCAVのみ)

【例】12340番のフレームの映像を呼び出す

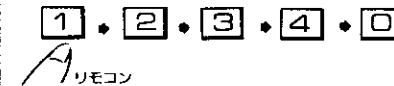


## 1 フレームナンバーサーチモードにする

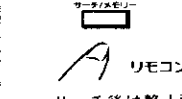
ボタンを押すごとに、画面の表示はCHAPTERまたはFRAMEに変わります。



## 2 数字ボタン12340と押す



## 3 サーチ/メモリーボタンを押す

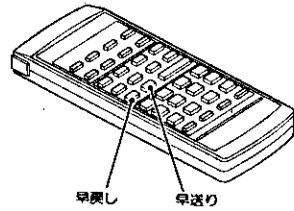


サーチ後は静止画になります。その後再生ボタンを押すと通常再生になります。

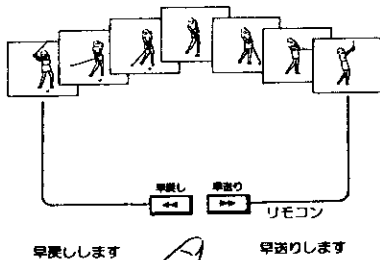
## &lt;サーチ時の注意&gt;

- 再生中のディスクに記録されているチャプターナンバー、フレームナンバー(標準ディスク)、タイムナンバー(長時間ディスク)よりも大きな数値を指定してサーチすると、再生面の終わり付近をサーチします。
- サーチ実行中に再生ボタンまたはマルチスピードボタン(標準ディスクのみ)を押すと、サーチ後にその再生モード(プレイまたはマルチスピード)で再生をはじめます。
- 一曲停止モードではサーチ終了後はどちらも通常再生になります。
- サーチ実行中に一時停止ボタンを押すと、サーチした画面で一時停止となります。

## 見ながら探す



早戻し 早送り



早戻しします 早送りします

- 押し続けている間は早送り・早戻しの画面になります。
- 押し続けると、LDでは最初の2秒間は低速で送り、その後は高速になります。

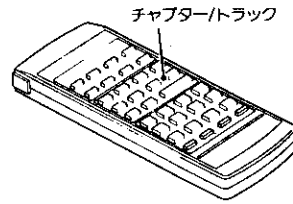
## ＜早送り・早戻しでは……＞

音は聞こえません。

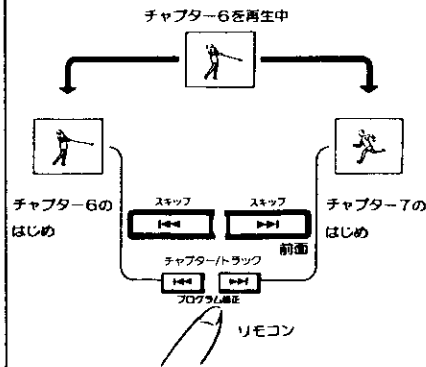
## ＜ご注意＞

長時間ディスク(CLV)、CDVビデオカートでは画面は乱れますが、故障ではありません。

## 頭出して探す



チャプタートラック



チャプター6の はじめ

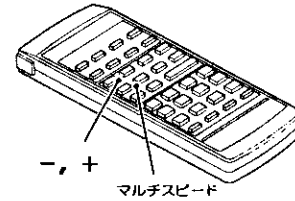
- 緑返して押すと、押した回数に応じたチャプターの頭出しをします。また、押しつづけても頭出しするチャプターナンバーが連続的に変わります。

## ＜チャプタースキップのご注意＞

- LDでチャプターナンバーの記録されていないディスクでは機能しません。
- 繰返し再生中に頭出し操作をすると、繰返しモードは解除されます。

## 速さや向きを変えて再生する

## マルチスピード(標準ディスクCAVのみ)



マルチスピード

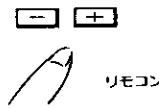
## マルチスピードモードにする



逆方向 正方向

通常再生に戻すには、プレイボタンを押します。

## 速さを変える



リモコン

速さ
通常の3倍速
通常の2倍速
通常と同じ速さ
通常の1/2の速さ
通常の1/4の速さ
通常の1/8の速さ
通常の1/16の速さ
通常の1/30の速さ
通常の1/90の速さ

- 電源を入れたときには1/4のスピードが選択されています。
- 通常再生に戻すには、再生ボタンを押します。

## ＜あつ!音が聞こえない!!＞

マルチスピード再生中や静止/コマ送り・コマ戻しでは音声は出ません。

## ＜オートマチックピクチャーストップについて＞

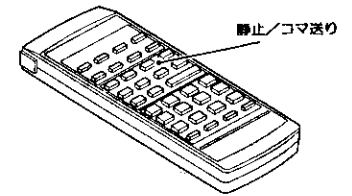
ディスクの中には、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがあります。こうしたディスクを再生している場合にはピクチャーストップコードで指定されているフレーム(画像)までプレイもしくは、倍速再生を除くマルチスピードで再生すると、自動的に静止画再生となります。

## ＜マルチスピードのご注意＞

●選んだ速さは他の再生モードに変えた場合には記憶されず、再生をやめディスクを取り出すと1/4の速さに戻ります。

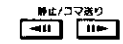
## 静止/コマ送り・コマ戻し

## 静止/コマ送り(標準ディスクCAVのみ)



静止/コマ送り

## 静止画にする

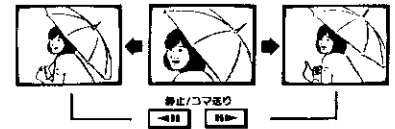


リモコン



どちらか一方を押す

## コマ送り・コマ戻し



静止/コマ送り

押すたびに1コマずつ前に戻ります。 押すたびに1コマずつ先に進みます。

- 押し続けると、連続的にコマ送り(コマ戻し)します。
- 通常再生に戻すには、再生ボタンを押します。

＜マルチスピード、静止/コマ送り・コマ戻しができない!!＞  
長時間ディスクCLVを使用しています。長時間ディスクCLVではできません。

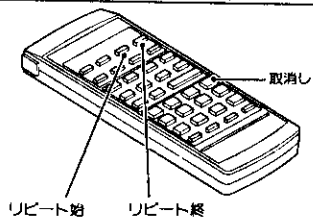
## ＜静止/コマ送り・コマ戻しのご注意＞

- 動きの激しい場面などでは完全な静止画の得られない場合がありますが、ディスクの不良やプレーヤーの故障ではありません。
- コマ送り、コマ戻しをした時、前の画面と完全に一致しない場合がありますが、ディスクの不良やプレーヤーの故障ではありません。

繰返し

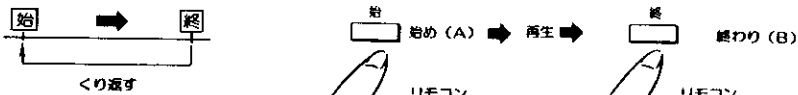
再生中におこなってください

解除するときは、取消しボタンを押します。

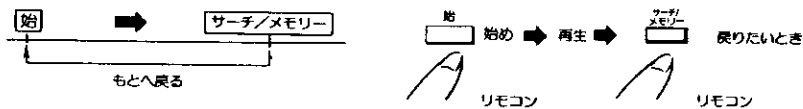


2点間(A-B)をくり返す場合(2点間繰返し)

指定した区間を繰返して再生します。



くり返して見たい(聞きたい)初めの場所を指定する場合(メモリー繰返し)



見ているチャプターや聞いている曲をくり返す場合(チャプター/トラック繰返し)

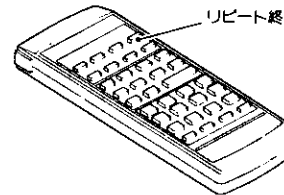


＜繰返しの解除＞

- 取消しボタンを押す。
- 2点間繰返しでは……  
終点まで再生しても始点には戻らず次へ進みます。
- チャプター/トラック繰返しでは……  
繰返し中のトラック(チャプター)の終わりまで再生すると次へ進みます。
- ワンサイド繰返しでは……  
ディスクの終わりまで再生するとプレイ終了となります。  
LDディスクの場合は片面を再生するとプレイ終了となります。  
CDVでは、ビデオパートの終わりまで再生するとオーディオパートを再生し、オーディオパートの終わりまで再生するとプレイ終了となります。

- プログラム繰返しでは……  
取消しボタンが押されたところから通常再生にもどります。  
取消しボタン以外の操作でも繰返し再生が解除される操作もあります。  
\*繰返し中の再生モードの切替え\*および\*繰返しボタンによる繰返しモードの切替え\*を参照してください。(→45ページ)

繰返し



ディスクの片面全部をくり返す場合(ワンサイド繰返し)



- チャプターナンバーの記録されていないLDの場合、通常再生に戻ります。

プログラムした順にくり返す場合(プログラム繰返し)

- 1 プログラム再生をします。
- 2 リビート終ボタンを押す。

- プログラムのしかたは、46ページをご覧ください。

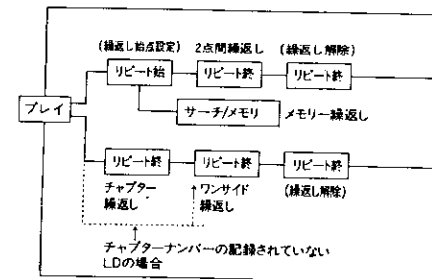
＜繰返し中の再生モードの切替え＞

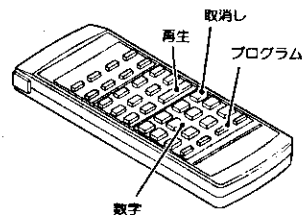
繰返し再生中にも再生モードを切替えたり、サーチなどのリモコン操作を受け付けますが、それにより繰返しを解除するものと解除しないものがあります。

	LDまたは CDVビデオパート	CDまたは CDVオーディオパート
解除しないもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレイ</li> <li>●一時停止</li> <li>●静止/コマ送り(正、逆)</li> <li>●マルチスピード(正、逆)</li> <li>●早送り、早戻し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレイ</li> <li>●一時停止</li> <li>●早送り、早戻し</li> </ul>
解除するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャプタースキップ(正、逆)</li> <li>●サーチ操作</li> <li>●サーチ操作 [チャプター/プレーム・タイム、数字の入力]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トラックサーチ</li> <li>●サーチ操作 [数字、トラック/タイムの入力]</li> <li>●プログラム再生</li> </ul>

＜繰返しボタンによる繰返しモードの切替え＞

リビート終ボタンによる繰返しモードの切替えを図により示しますのでモードの指定や変更にお役立てください。  
(リビート終ボタンによる繰返しの切替え)





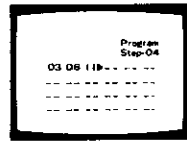
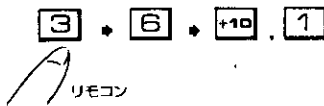
プログラムを解除するには  
プログラムの入力状態で取消しボタ  
ンを押します。

〔例〕LDでチャプター③、⑥、⑩とプログラムする場合

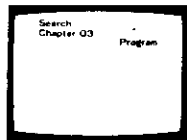
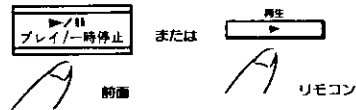
**1** プログラムモードにする



**2** 数字ボタンを押す



**3** 開始する



〈プログラム再生の停止〉

停止/取消しボタンまたはリモコンの取出しボタンを押します。このとき、プログラムの内容を取消ししません。もう一度押すと、取消しします。

〈プログラム演奏を終了すると……〉

すべてのプログラムステップの再生を終了するとストップモードになります。プログラムの内容は取消されません。

〈入力時のご注意〉

プログラムを入力する場合は、リモコンの数字ボタンを使用します。0～9を指定する場合⑩ボタンでダイレクトに入力され、次のステップの入力ができます。10以上を指定するときは、10の位を [+10] ボタン、1の位を⑩-⑦ボタンで指定します。 [+10] ボタンを押した後に続けて [+10] ボタンを押すと、10の位が2、3……と増えます。

〈プログラム数について〉

24ステップまでプログラムできます。

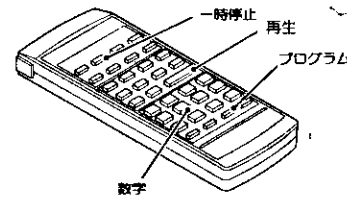
〈プログラム時のTime/Remain/Total表示について〉

CD、CDV(オーディオパート):プログラムした曲の残り時間(Remain)または総演奏時間(Total)を表示します。

マークのあるLD:ディスクの総演奏時間(Total)を表示します。残り時間(Remain)は表示しません。

〈ストップモードからのプログラム再生〉

ディスクが回転していない状態や、ディスクテーブルが出ている状態でプログラムを操作しても、プログラム再生をはじめることができません。



ポーズ(一時停止)のプログラム

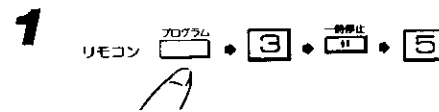
〔使用例1〕

カセットテープの両面に録音する場合にポーズをプログラムします。テープの片面終了時間前の曲の後に、ポーズボタンで一時停止するようにプログラムすると、テープをかけ替えた後に、録音が開できます。

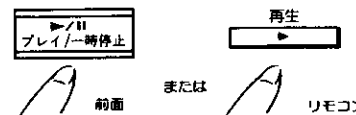
〔使用例2〕

テープ録音時に曲と曲の間にポーズボタンで一時停止するようにプログラムすると、その間に無録音部を作成したり、ナレーションを吹き込み後に、録音が開できます。

〔例〕CDの3曲目、一時停止、5曲目をプログラムする。



**2** 再生を開始する



3曲目終了後、5曲目のはじめで一時停止します。プレイボタンを押すと、演奏をはじめます。

〈プログラムについてのご注意〉

ディスクにないチャプターナンバーやトラックナンバーを入力した場合。

● LD マークのないLDでは……  
ディスクにないチャプターナンバーもプログラムされますが、プログラム再生を実行すると、そのステップは飛び越して再生します。

● CD、CDV、LD マークのあるLDでは……  
再生をはじめると、TOCが読取られたあとであれば、ディスクに記載されていないトラックナンバー(チャプターナンバー)はプログラムされません。ただし、LD マークの有るLDでもチャプターナンバー0はディスクになくてもプログラムされます。再生をはじめの前にプログラムした場合、ディスクにないトラックナンバーの入力も受け付けますが、プログラム再生をはじめるとTOCを読取った時点でプログラムから削除されます。

〈プログラムステップの飛び越しについて〉

プログラムプレイ中にチャプタースキップボタンを押すと、プログラムステップの飛び越しができます。

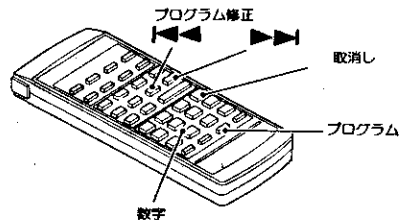
連続して押すと、押した回数に応じてステップを飛び越します。ポーズ(一時停止)がプログラムされている場合には、飛び越し動作ではポーズは無視され、次の(または1つ前の)ステップへ飛びます。

〈ポーズプログラムのご注意〉

最初のステップおよび、続けてポーズはできません。ポーズプログラムも1ステップとして数えます。



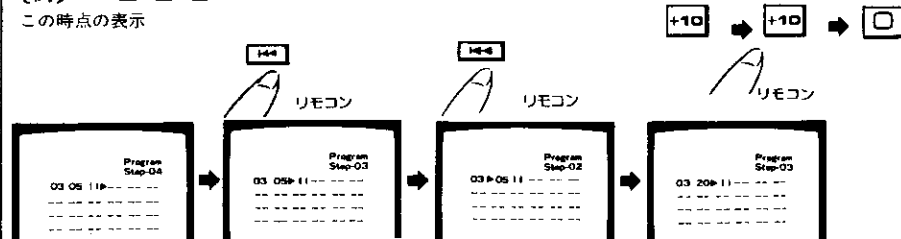
つづく →



プログラム入力中のプログラム変更

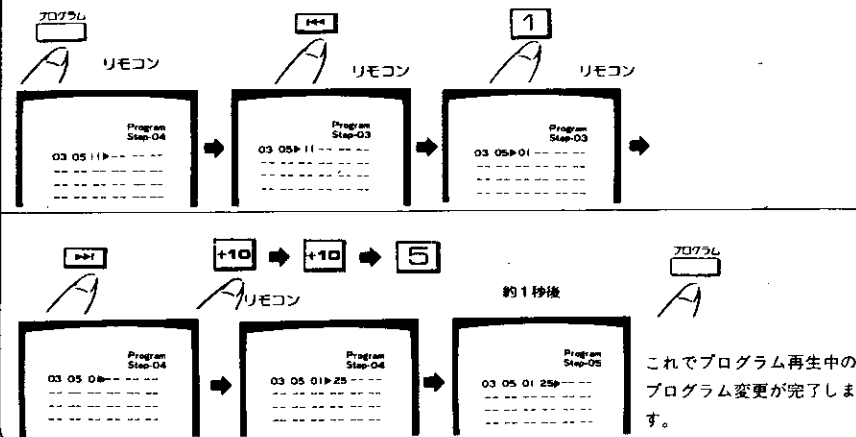
【例】LDで③、⑤、⑩を入力した後にステップ2の内容(⑤)を⑩に変更したい時。

この時点の表示



プログラム再生中のプログラム変更

【例】LDで③、⑤、⑩の順のプログラムで③のプログラム再生中、ステップ3の⑩を⑤に変更し、ステップ4として⑤を追加する時。



＜プログラム再生中のプログラム変更のご注意＞

現在実行中のステップ内容を変更しようとした場合、▶が点滅してそのステップの内容は変更できないことを示します。

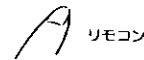
＜CDおよびCDVでは……＞

プログラムのしかたは同じです。

＜一曲停止モードでは……＞

画面表示は、カナ文字になります。

プログラム再生の解除



- プログラム再生中にサーチの操作をおこなってもプログラム再生は解除されず。

【ご注意】

- プログラムはプレイ、ストップ、一時停止、繰り返し再生中に可能ですが、繰り返しからプログラムすると繰り返しモードは解除されます。
- ディスクにないチャプターナンバーをプログラムすると、プログラム再生時にそのステップは実行せず、次のステップを再生します。

プログラム表示について

〔プログラム入力中〕

数字ボタンで入力したチャプターナンバーまたはトラックナンバーを画面に表示します。

〔プログラム再生中〕

CDおよびCDVのオーディオパートを再生中やLDおよびCDVのビデオパートで一時停止しているときに、切替表示ボタンを押すと、プログラム入力したナンバーを表示します。再生終了したナンバーは、バックの枠が無くなります。

(ナンバーは表示しています。)

- CDの残量時間表示、総演奏時間表示は、プログラム再生中には、プログラム再生中のプログラムした総曲数・総演奏時間の表示になります。
- 総演奏時間が99分59秒をこえた場合は、表示しません。
- LDでは、残量表示はしません。総演奏時間表示は、ディスクの総曲数・総演奏時間表示です。TOCの入っていないLDでは、この表示もありません。

## 11 安全にお使いいただくために

### 国内でのみご使用ください

本機は日本国内専用仕様です。使用電源は交流100Vです。(大型クーラー用などの200Vコンセントは使用しないでください。大変危険です。)

### 本機に異常が発生したときは

ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、すぐに電源スイッチを切り、使用をやめてください。必ず、電源コードをコンセントから抜き、お買上げの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。

### 分解しないでください

本機の内部には高電圧がかかっているところがあります。キャビネットをあけての内部点検や改造は感電のおそれがあり危険です。お客様が改造を加えた場合の性能の劣化や故障については、保証いたしません。

### 長い期間、使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

### 一般家庭用でのみご使用ください

本機は一般家庭用専用仕様です。  
例えば、業務用への使用、あるいは車両、船舶への搭載は絶対しないでください。

### 異物や水が入ったときは

本機の通風口や開口部などからヘアピンや釘、硬貨などの金属性のものや紙、マッチなどの燃えやすいものを差込んだり落としたりしないでください。故障や火災、感電の原因となります。異物や水が入ったときは、お買上げの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。

### 電源コード、プラグの取扱い

電源コードの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。コードを引っぱったり、ぬれた手で取扱うと、ショートや感電の原因となり危険です。電源コードを本体や家具などの下に敷いたり物にはさんだりしないでください。また他のコードとつないで結び目を作ったり、往來の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災の原因となる場合があります。また、電源コードはときどき点検するようにしてください。もし損傷を受けた場合にはお買上げの販売店にコードの交換をご依頼ください。

### 雷雨時には

ご使用中に大きな雷が近づいたときは外部アンテナを端子からはずして、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 12 保守と注意事項

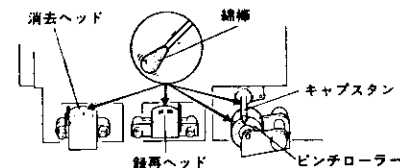
### 自動頭出し使用上の注意

1. 頭出し動作をさせたいときは、必ず、再生ボタンを押してから、早送りまたは巻戻しボタンを押してください。
2. 曲の終る5秒くらい前に頭出し操作をしたときは次の曲から始まり、とばすことがあります。
3. 曲の始め5秒くらいの間で繰り返し操作をしたときは、前の曲まで戻ることがあります。
4. 頭出し動作中、音量つまみの位置によっては、スピーカーから「キュルキュル」という音が少し聞こえることがあります。
5. 頭出し動作中に一時停止ボタンを押すと、誤動作の原因となりますので、一時停止ボタンは頭出し動作の前に押してください。
6. 頭出し動作をさせるとき、テープにたるみが生じる場合がありますので、頭出し動作直後に停止させて、テープを取り出さないでください。
7. 頭出し機構は、録音テープの曲間の無録音部分を検出することによって動作しますので、次のような場合、頭出し動作が正常に動作しないことがあります。故障ではありません。
  - ① 会話などで、音声途切れている場合。
  - ② 音楽で、ピアノシモ(音が非常に小さい場合)が長く続く曲や、曲中に無音部がある場合。
  - ③ 曲全体の録音レベルが低い場合。
  - ④ 曲間が短い(約5秒以下)場合。
  - ⑤ 曲間に大きな雑音あるいはハム音が録音されている場合。

●テープデッキを長い間お使いになると、ヘッドキャプスタン、ピンチローラーなどテープと接する部分が汚れ、故障の原因となることがあります。このためよい音で録音・再生するためにヘッド部の清掃をおすすめします。

### 1. ヘッド部の清掃

- (1) 取出しボタンを押してカセットドアを開きます。
- (2) 綿棒に消毒用アルコールを少しふくませて、図の矢印の部分をつまみます。



※ヘッド、テープガイド類は、正確に調整されていますので、清掃のとき必要以上の力を加えないでください。

### 2. ヘッド部を清掃後、すぐにテープを入れしないでください。

※ヘッド部をクリーニング液で清掃した後は、ヘッド表面が完全に乾くまで約3分程度、テープを入れしないでください。

※ヘッド部には金属類や磁石類を近づけないでください。

# 13 故障と思われるとき

## 故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう


セットが正常に動作しないときは、次の表にしたがってチェックしてみてください。

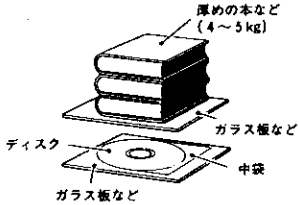
なお、この表の各項にも該当しない場合には、ただちに電源を切り電源プラグをコンセントより抜き取り、お買上げの販売店にご連絡ください。

### ●カラオケ本体部 (HAD-LK500)

症状	原因と思われる点	処置
1. 電源ボタンを入れてもモード表示ランプがつかず、音も出ない。	●電源プラグが外れているか、差し込みが不完全。	●電源プラグの差し込みが完全であることを確認してください。
2. モード表示ランプはつくが、音が出ない。	●つまみ、ボタンなどの取り扱いが違っている。	●この取扱説明書を再度読み、操作を確認してください。
3. テープが回らない。	●テープが正しくセットされていない。 ●規格外のテープを使用している。 ●テープが巻き終っている。  ●一時停止ボタンが押されている。 ●テープが巻きしまりを起こしている。	●テープを入れなおしてください。 ●テープを他のものに交換してみてください。 ●テープを巻き戻すか、または裏返して使用してください。 ●一時停止ボタンをもう一度押してください。 ●カセットの両面を軽くたたか、早送り、巻戻しをしてから使用してみてください。
4. カセットで録音ができない。	●ツメを折ったカセットテープをセットしている。 ●録音・再生ヘッドが汚れている。	●カセットテープを他のものと交換してみてください。 ●録音・再生ヘッドを清掃してください。
5. テープの音がふるえたり音とびがする。高音域が出ない。(カセットの場合)	●テープが傷んでいる。 ●規格外のカセットを使用している。 ●テープ走行面が汚れている。	●カセットテープを他のものと交換してみてください。 ●ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどテープ走行面を清掃してください。
6. テープの消去ができない。	●消去ヘッドが汚れている。 ●傷、のび、ねじれなどを起している。 ●不良テープを使用している。	●消去ヘッドを清掃してください。 ●カセットテープを他のものと交換してみてください。
7. テープ演奏の雑音が多い。	●ヘッド部が汚れている。 ●電気毛布、照明用調光器などを近くで使用している。	●ヘッド部を清掃してください。 ●セットを離してください。それでも雑音が入る場合は、電気毛布、照明用調光器の使用をさけてください。
8. カセットが自動頭出し動作をしない。	●つまみ、ボタンなどの取り扱いが違っている。	●自動頭出しのしかた(26ページ)を参照してください。

### ●マルチレーザーディスクプレーヤー部 (VIP-LK500)

症状	原因と思われる点	処置
9. ディスクテーブルが出ない。	●電源が入っていない。	●電源プラグをコンセントに差し込み、本体部の電源ボタンを入にする。
10. ディスクテーブルが出てくる。	●ディスクが極端に汚れている。  ●薄型20cmLDの表裏を逆にしてている。 ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ●プレーヤーが結露している。 ●ディスクが変形(そりなど)している。	●ディスクをクリーニングする。 →市販のディスククリーニングキットをご使用ください。 ●タイトルのレーベルが上になるようにセットし直す。 ●もう一度セットし直す。  ●ディスクを取出し、(電源を入れたまま)1-2時間待って、霧が消えてから使用する。 ●変形を矯正する。(症状17の処置欄を参照)
11. テレビ番組が映らなくなった。  UHF放送が映らない場合	●VHFアンテナをプレーヤーへつないでいない。 ●アンテナスルーにしていない。  ●VHFとUHFが混合されて送られているケーブルをプレーヤーへつないでいる。	●VHFアンテナをプレーヤーのアンテナ端子へつなぎ、VHF出力端子とテレビをつなぐ。 ●リモコンのTV/LDPキーを押す。または、電源を切る。 ●VHFとUHFを分波し、VHFはプレーヤーへつなぎUHFは直接テレビへつなぐ。(19ページ参照)
12. テレビの受信に切替えると、プレーヤーをつなぐ前に比べて映りが悪い、画面にしま模様が入る。	●テレビ放送の電波状態により、プレーヤーの電源を入れたままテレビ放送を見ると画面にしま模様が出る場合がありますが、プレーヤーの故障ではありません。	●プレーヤーの電源を切る。 →症状が改善されない場合にはアンテナを点検してください。または市販のブースターを使用してください。
13. リモコンで操作できない。	●本体と離れすぎている。または、本体の受光部と角度がありすぎる。  ●電池が消耗している。  ●本体の受光部とリモコンの間に障害物がある。	●受光部からの角度約30度、距離7mの範囲で操作する。 →操作できる範囲が極端に狭くなった場合には電池を交換してください。 ●電池を交換する。 →2個とも新しいものと交換してください。 ●障害物を除くか、リモコン操作の場所を変える。
14. リモコン操作をするとテレビが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部で本機のリモコンにより誤動作する場合があります。	●テレビとプレーヤーの設置場所を離すか、ディスク再生中にはテレビのリモコン受光部におおいなどをして、リモコン信号を受けないようにする。
15. ディスクは回転しているが、映像が出ない。(映像は出るが画質が悪い、乱れる。)  テレビで再生している場合のみ。	●テレビ(カラーモニター)の電源が入っていない。 ●接続が違っている。 ●接続プラグが外れている。(差し込み方が不完全) ●プレーヤーの送り出しチャンネルとテレビの受信チャンネルが違っている。  ●テレビのチューニングがずれている。 ●テレビ放送の受信モードになっている。	●電源を入れる。  ●正しく接続し直す。 ●確実に接続する。  ●テレビを空きチャンネル(1ch、2chのうちテレビ放送のない方)にし、プレーヤーのチャンネル切替スイッチ(後面パネル)を同じチャンネルにセットする。 ●正しくチューニングする。(テレビの取扱説明書を参照してください。) ●ディスク再生を行なう場合には、TV/LDPキーを押す。

症 状	原因と思われる点	処 置
16. 乗直同期が乱れる。 (画面が上下に流れる。)	●再生中、暗い場面から明るい場面へ切りかわるときなど、一瞬画面が上下に流れる場合がありますが、故障ではありません。 (テレビの垂直同期を調整する。)	
17. 特定のディスクで画質が悪い、映像が乱れる。	●ディスクが極端に汚れている。  ●ディスクが変形(そりなど)している。	●ディスクをクリーニングする。 ⇒市販のディスククリーニングキットをご使用ください。  ●変形を矯正する。 ⇒ディスクを中袋に入れてガラスなどの平らな板ではさみ、4～5kgの重しをして、1日ほどそのままにしてください。そりなどが軽減されることがあります。  
18. 音声が波打ったようになる。	●CXマークのないディスクで、CXシステムをオンにしている。	●リモコンのCXボタンを押してOFFにする。
19. 音が出ない。	●マルチスピード再生をしている。 [音声は通常の再生(プレイ)時のみ出力されます。]	●プレイボタンを押して通常の再生に戻す。
20. 静止画の一部がブレる。	●標準ディスクであっても、動きの激しい場面では静止画の一部がブレる場合がありますが、プレーヤーディスクの故障ではありません。	
21. チャプタースキップ、チャプタープログラム、チャプターナンバーサーチができない。	●チャプターナンバーの記録されていないディスクを再生している。	●チャプターナンバーの記録されていないディスクでは、チャプターを利用した機能はおこなえません。
22. スタート時間、サーチ時間が長い。(約40秒以上)	●コードの読み取りに時間のかかるディスクがあります。 (故障ではありません。)	●極端に長い間には、リモコンの取消しボタンを押す。(この場合、目標のサーチ場面とわずかにズレる場合がありますので、ご了承ください。)
23. A～B繰返して始点に戻るのが遅い。	●上記22と同様。	●リモコンの取消しボタンを押すとA点とほぼ同じ場面が出ますが、繰返しは解除されます。

症 状	故障と思われる点	処 置
24. タイムナンバーサーチを行なうと、指定したタイムナンバーと違う場면을サーチする。	●リモコンの画面表示キーを押して、「秒」まで記録されたディスクか「分」が最小単位のタイムナンバーのディスクかを確認して操作し直す。  例えば12分サーチでは、 (秒なしディスク) フレーム・タイム [1] [2] サーチ/メモリー (分)  (秒ありディスク) フレーム・タイム [1] [2] [0] [0] サーチ/メモリー (分) (秒)  の手順で操作します。	
25. ダイレクト選曲できない曲がある。	●ディスクに入っている曲数以上の番号を押した。	●ディスクに入っている曲数以下の曲を選択してください。
26. 音多ディスクを再生してもボーカルがでない。	●音多バランスつまみが演奏側になっている。	●音多バランスつまみを中央側にします。
27. 一曲停止モードなのに一曲停止しない。	●一曲停止は、一回の選曲操作に対して一回しかおこないません。	●選曲し直してください。
28. ステレオ音多にならない。	●後面のステレオ音多コントロールの入出力が接続されていない。	●コードを接続してください。 (2、14、15ページ参照)

#### ＜コンパクトディスク再生時＞

症 状	原因と思われる点	処 置
29. 再生をはじめてもすぐにストップしてしまう。	●ディスクの裏表を逆にセットしている。 ●ディスクが極端に汚れている。  ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	●レーベル面を上にしてセットしなおす。  ●ディスクをクリーニングしてください。 ⇒市販のディスククリーニングセットをご使用ください。 ●もう一度セットし直してください。
30. 音が出ない。	●HAD-LK500との接続が間違っている。 ●接続プラグがはずれている。 (差し込み方が不完全) ●接続プラグや端子が汚れている。 ●一時停止モードになっている。 ●HAD-LK500の操作が間違っている。	●正しく接続しなおしてください。  ●確実に接続してください。 ●柔らかい布で汚れをふき取ってから接続しなおしてください。 ●プレイボタンを押してください。 ●正しく操作してください。 (29ページ)
31. 音がひずむ。	●接続プラグや端子が汚れている。  ●接続プラグの差し込み方が不完全。	●柔らかい布で汚れをふき取ってから接続しなおしてください。 ●確実に差し込んでください。



## 15 保証とサービスについて

1. この商品には、保証書が添付されています。  
保証書は、所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。  
保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
3. 保証期間後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により、有料修理致します。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
4. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. なお、保証および修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店か、別紙（黄色用紙「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。
6. 修理を依頼される前に、52～55ページの「故障と思われるとき」の項にもついでお調べいただき、それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
7. セットの改造は絶対に行わないでください。故障の原因になるばかりでなく、安全面での保証ができなくなります。尚、改造された製品については、保証期間中でも、改送セットが原因の事故に関しては、責任を負いかねます。
8. ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスをうけられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

## 16 著作権についてのご注意

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断では使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。

従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

たとえば、

- 放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくはほとりりの支部におたずねください。

### 社団法人日本音楽著作権協会(音権協)

- 〒105 東京都港区西新橋1-7-13  
☎(03)502-6551(大代表) FAX (03)508-8183
- 北海道支部(業務地域 北海道)  
〒060 札幌市中央区北一条西3-2 大和銀行札幌ビル  
☎(011)221-5088(代表) FAX (011)221-1311
- 東北支部(業務地域 宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島)  
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル  
☎(022)264-2286(代表) FAX (022)265-2706
- 大宮支部(業務地域 埼玉・栃木・群馬・長野・新潟)  
〒330 大宮市宮町2-51 大宮優良ビル  
☎(0486)43-5461(代表) FAX (0486)43-3567
- 東京支部(業務地域 東京・千葉・茨城・山梨・沖縄)  
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目  
☎(03)562-4455(代表) FAX (03)562-4457
- 横浜支部(業務地域 神奈川県)  
〒231 横浜市中区日本大通り60 朝日生命横浜ビル  
☎(045)662-6551(代表) FAX (045)662-6548
- 静岡支部(業務地域 静岡県)  
〒420 静岡市道手町9-22 成光静岡ビル  
☎(0542)54-2621(代表) FAX (0542)54-0285
- 中部支部(業務地域 愛知・岐阜・三重)  
〒450 名古屋市中村区名駅4-27-20 名古屋三井ビル南館  
☎(052)586-1155(代表) FAX (052)586-1157
- 北陸支部(業務地域 石川・富山・福井)  
〒920 金沢市香林坊2-3-25 全沢日産生命ビル  
☎(0762)21-3602(代表) FAX (0762)21-6109
- 京都支部(業務地域 京都・滋賀)  
〒600 京都市下京区西桑田通丸太町長刀鉾9 京都三井ビル  
☎(075)251-0134(代表) FAX (075)251-0414
- 大阪支部(業務地域 大阪・兵庫・和歌山・奈良)  
〒542 大阪市南区南船場4-3-11 豊田ビル  
☎(06)244-0351(代表) FAX (06)244-1970
- 中国支部(業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)  
〒730 広島市中区大手町1-2-1 広島東海上ビル2F  
☎(082)249-6362(代表) FAX (082)246-4396
- 四国支部(業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)  
〒760 高松市舟町2-2-10 住友生命高松船場ビル  
☎(0878)21-9191(代表) FAX (0878)22-5083
- 九州支部(業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・鹿児島)  
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル  
☎(092)441-2285(代表) FAX (092)441-4218
- 那覇出張所(業務地域 沖縄)  
〒900 那覇市久志地1-3-1 久茂地セントラルビル  
☎(098)163-1228(代表)